京城日報

廿七日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵送料 ……
廣告料 ……
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社
電話 ……

總統府特別大會議

獨逸より正式回答を受くると同時に態度發表に一致

二十五日大總統府に馮副總統を主賓として午餐會を開け其の後段總理各部總長外國顧問等を會せる特別大會議を開き外交上の協議を爲せり聞く所に依れば大體に於て意見一致し獨逸より正式回答を受くると同時に態度を發表すべしと(北京特電)

劉外交次長の辭意

劉外交次長は辭意を洩らしつゝあり(北京電報)

米國輿論開戰に傾く

華盛頓來電＝米國は開戰に向つて更に一歩を進むべき事最早避く可らず此の輿論次第に勢を得つゝあり新聞紙の傳ふる所にては大統領ウヰルソン氏は茲數日間に議會に對し必要の場合には斷乎たる行動を執るの必要手段に就て通告する所あらんとすと(倫敦電報)

▲武力使用權附與要求

米國大統領ウヰルソン氏は廿六日午後一時兩院混合會議に望み公海に於ける米國民保護の爲め武力使用權能附與を要求せり(紐育電報)

獨逸新軍事公債案

總額百五十億馬克＝勞働黨社會黨の反對＝終に可決さる

伯林來電＝大藏大臣レーデルン伯は百五十億馬克の新軍事公債案を帝國議會に提出し說明して曰く

昨年十月可決したる軍事公債は殆んど消費され最近二三箇月間は最逼迫を感じたり然し獨逸の軍事費は敵國に比すれば殆んど半額に當れりと新軍事公債發行に關し勞働黨の首領社會黨其他の少數黨は政府を攻擊して曰く新公債發行に對し吾人は責任を分つ能はず戰爭の目的に對する政府の處置は不誠實にして我が平和提議の如き國家の威信を傷けたる事幾何ぞ又波蘭國を建設せんとする獨逸及墺國の態度は獨立權を(不明)する各國民の權利を侵犯するもの也更に無制限の潛航艇戰は誤れるも甚だしく吾人は之が休止を要求す(此の時妨碍起る)右の演說終るや新軍事公債案は十八名の社會黨の反對ありしのみにて可決されたり(紐育電報)

倫敦大學東洋學科新設

倫敦大學に東洋學科講座新設せられ英國皇帝皇后兩陛下臨御の上東西思想の結合を希望すと宣はせられたり(倫敦電報)

英船ラコニア擊沈さる

英國汽船ラコニア號(一萬八千噸)は獨逸潛航艇の爲め擊沈されたり(紐育電報)

英國禁輸と我國

英國新禁輸品は七十種に達し我國の蒙る可き影響二億三千萬圓の見込なりと(東京電報)

郵船武裝實行期

日本郵船會社に於ては來る三月十三日橫濱出帆の宮崎丸より武裝を實行す可し(東京特電)

憲派當選豫想

下岡忠治氏曰く來る可き總選擧に於て憲政會は百七十名の當選は確實也(東京電報)

總督醫院視察

長谷川總督は二十七日午後一時より武官、秘書官、副官等を隨へ總督府醫院に赴き院內狀況及び京城醫學專門學校を視察したり

水產會同終了

水產主任技術者會同最終日は二十七日午前九時三十分より總督府水產課內に開催生田水產課長以下係者一同出席し豫定の日程を議了して午後三時散會したり

煙草獻納手續

總督府度支部專賣課に於て過般鐵道便特別扱にて發送せる第四回獻上煙草は二十五日總督府東京出張所に到達せる旨同出張所より電報あり本煙草は二十六日獻納の手續を了へたる筈なり

學務主任會同

道學務係主任事務打合會同第二日は二十七日午前十時より總督府第一會議室に開會、出席者前日の如く直ちに日程に入り聽取事項の聽取ありて午後三時閉會したり

測量標規改正

土地測量標規則中改正の件は二十八日附府令を以て同日の朝鮮總督府官報に依り發布の事となれり改正の要點は土地調查終了後に於ては同規則中臨時土地調查局に於て處理す可き事項及び同局に對する報告、申請又は承認等に關する事項は道に於て管掌することゝし且つ圖根點標石に關する規定を追加せるに在り

官制改正要點

高等土地調查委員會及び臨時土地調查局の改制

二十六日の官報にて臨時土地調查局官制改正の件並に朝鮮總督府高等土地調查委員會官制改正の件勅令にて公布されし事は本紙東京電報の傳ふる如くなるが右の要點に付某當局の談を聞くに

▲調查委員會の官制改正は高等土地調查委員會の定員十五名なりしを二十五名に增員し內五名を土地調查局事務官兼總督府事務官をして專任とするものなるが右の改正に伴ひ部屬の改正をもなすべく近日總督府官報にて發表の筈內容は從來高等土地調查委員會を三部に分ち居しが今回委員の增加と共に之れを五部に分ち部に部長を置き又委員長は調查委員會の事務を總攬し兼ねて一部に部長たるべし而して

▲土地調查局の官制改正は事務官二人とありしを七人に乃ち定員五名增加並に土地調查局副事務官七人を十一人と改むるものにして右五名增員の事務官は兼總督府事務官の資格を以て前述の如く高等土地調查委員に又副事務官は高等土地調查委員會幹事として現在の幹事に增員し各部に一名宛を配屬せしむべし又從來土地調查局副事務官は高等官五等迄とせしも今回四等官迄任用し得るやうに改め俸給も之れに伴ひ二級丈け昇給し得る道を開しなりと云ふ

▲增員高等官詮衡

土地調查局官制改正の結果增員すべき土地調查局事務官五名及び副事務官四名は人員の詮衡中にて近く任官の手續をなす模樣に付三月中旬までには發表さるべし尙ほ事務官は現司法官より副事務官は土地調查部內より任用さるべしと仄聞す

執務時間改正

總督府並に所屬官署は何れも三月一日より執務時間を改正し午前九時登廳午後四時退廳の事に決せり

定例長官會議

二十七日は定例長官會議日なるより長谷川總督以下各部長官、局長、所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に開會通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

警察署長更迭

二十六日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府警視 眞野景象
補新義州警察署長(六級俸下賜)
同 宮村駒三郎
補鎭南浦警察署長(六級俸下賜)
同 高坂晟太郎
補大邱警察署長

小學校新營方針

京城府にては內地人居住者の激增に伴ひ每年入學學齡兒童の數非常の勢ひにて增加しつゝある爲め每年各小學校學級數の增加若くば新校舍の設營をなして其の急に應じつゝあるが大正六年度に於ては龍山に一校增設の事となるべく七年度には多分學校組合にて土地を所有し居る龍山練兵場の一隅に之れを設けて附近一帶を通學區域とし大正八年度には本年新設中の東大門小學校の學級增加を試むる事に決すべく當局に於て其計畫中の由なり

千歲延期出港

十六日出港の豫定なりし練習艦千歲は港外濃霧の爲め一日拔錨を延期し二十七日午後二時出港全速力にて旅順に向ひたり(仁川)

東拓所長會議

東洋拓殖會社に於ては東上中の石塚總裁歸京し高瀨理事も數日中に歸任の筈に付二月中旬各出張所長を本社に召集し數日間會議を開會すべく昨今主務課に於て其々準備中の由

高瀨理事歸期

一月上旬社用を帶びて東上せし東拓理事高瀨吉氏は略要務の處理出來せしに付來る三月五日頃歸鮮すべき旨消息ありたりと

河合鮮銀司事

前北海道拓殖銀行にありし河合梅四郎氏は今回司事として朝鮮銀行に入り近く著任の由なるが營業課勤務となるべし

竹島間島鮮銀店長

鮮銀新開店の間島龍井村出張所長に任せらるべき東京支店詰竹島靖氏は二十八日夜入京三四日滯在の上赴任すべしと

高野支店長歸京

久しく東上中なりし三井物產會社京城支店長高野省三氏は二十七日午前八時五十分南大門驛著列車にて歸京したり

二事務官送別會

二月二十日附を以て京畿道第三部長より黃海道第一部長に轉任を命ぜられたる尾道熙氏及び同道事務官より慶尙北道勤務を命ぜられたる東田篤氏並に同道警務部勤務より忠清南道事務官に任ぜられたる以上三氏の爲め京畿道及び同警務部の有志者は二十七日午後六時南山町料亭花月に於て送別の宴を開く

小松京畿道事務官

忠清南道在勤より京畿道在勤を命ぜられたる道事務官小松淺五郎氏は二十六日夜著任今二十七日出勤各課に著任挨拶を爲せり

今村道事務官著任

京畿道新第二部長今村武志氏は二十八日午前八時四十分南大門驛著列車にて著任の筈なりと

山澤檢事の著任

前東京區裁判所檢事京城地方法院檢事に新任の山澤佐一郎氏は此程著任二十七日市內各官廳を歷訪して新任の挨拶をなせり

村上事務官の東上

李王職事務官村上龍佶氏は嚴父逝去の急報に接し二十八日朝退に東上する由なるが同夫人は取纏めの都合上五六日後に出發す可しと

仁川

▲高見技師來仁 京畿道高見技師は二十七日午前十時來仁仁川府廳に至り米穀檢查所松本主任と會し米穀檢查の現狀及び效果等に就き聽取する處ありたるが此れ來年度より實施すべき米檢道直營の準備なり ▲委員會終了 仁川學校組合會委員會は十六日夜を以て終了し本會議は十八日午後三時より召集すべしと ▲燐寸株式超過 朝鮮燐寸會社の株式應募狀況を聞くに既報の如く一般より募集すべき株式は三百四十五株にして各方面より續々申込來り超過株千株に達するの盛況を呈せるを以て或は按分比例に依つて希望者に頒つに至る可し然して普通株は前通の如く超過するに至りたるも額面以上の申込者に對しては相當の方法を講ず可く何れ大阪より大株主來仁の上商議決す可しと ▲朝鮮產大豆相場 大阪に於ける朝鮮產大豆市況を聞くに釀造家も弗々手出しつゝあるも値頃高の加減か捗々しく進取せず市況在荷は僅少なるから弗々成行に應じ賣物もあり自然軟調一、二十錢安の成行を呈せり相場は釜山川口十一圓三十錢元山並上十一圓六十錢龍山十一圓六十錢白川十一圓四十錢水原十一圓三十錢黃州小粒十一圓平壤十一圓十錢なりと

鐵原

▲衛生評議員改選 鐵原衛生組合は評議員半數期滿解任に付廿五日正午より普通學校々舍に於て選擧を執行したるが投票の結果當選者左の如し

藤澤鶴太郎、武安庭源、阿久津宗藏、朴興錫、崔昇、金定錫

平壤

▲中村組の新事業 鎭南浦中村組に於ては今回平壤に於て物產商業部を新設する事となり其敷地として平壤郵便局向側竹中佐治郎氏所有地九百七十八坪を二萬七千圓にて買收したるが愈々來る四月上旬より工事に著手すべし ▲セメント會社建築 小野田セメント會社に於ては朝鮮分工場設置豫定地として平安南道江東郡萬達面の土地十七萬六千坪を價格一萬六千餘圓にて買收し目下建築準備中なるが建築著手は來月上旬ならんと尙同會社の工場及び鐵鐵に必要なる材料は主として內地產のものを使用すべく已に大部分は注文濟なるもスチームダービンは我國に於て未だ理想的のものなきより米國若くば瑞西に注文せざるべからざる由然し瑞西は目下歐洲戰亂の爲め供給を仰ぐこと能はざるより今回は米國に注文すべしと同會社平壤出張員は語れり ▲松寺檢事長新任披露 松寺檢事長新任披露の宴は二十五日午後六時より大同館に開會平壤の官民有志九十餘名を招待檢事長の挨拶工藤長官の謝辭あり盛會なりし ▲兒童懇話會 平壤內地人兒童英語學會に於ては三月一日午後一時より覆審法院判事大谷信夫氏官舍に於て懇話會を開催する由なるが平壤在住外國婦人グリランド孃バートーマス孃グラン孃等出席すべしと尙出席兒童は二十數名なりと ▲平壤果菜市場設立披露 平壤果菜市場の設立成り二十七日午後七時より旭町喜樂に於て開業披露の宴を催すべく夫れ〳〵案內狀を發せり ▲長野縣人會 平壤居住の長野縣人より成る同會は二十四日午後七時より大同館に於て開催集る者三十餘名橋部一等軍醫幹事として挨拶し尙小口源一郎幹部として會務及び會計の報告を爲し一同酒宴後午後十一時散會

群山

▲普校學藝會 群山普通學校にては二月二十四日土曜日午前九時より同校に於て第十回學藝會を開催したるが群山府より大野府尹、鄕學務係主任を從へ臨場し其他父兄の參觀者多數ありて頗る盛會なりし ▲上級校進學生 群山公立尋常高等小學校在學兒童にして本年卒業すべき上級學校に進學希望數を聞くに男子の中學入學希望者十四名工業學校五名商業學校六名農學校四名幼年學校二名合計三十一名女子の高等女學校入學希望者七名女子師範學校一名計八名等なるが女子は此の外群山公立實科高等女學校に入學希望者約十名ありて是れを前年度の上級校進學希望者數と比するに本年は男子にて六名女子にて約二三名を增せり ▲商銀開設 京城商業銀行は當群山港に支店を開設すべく同行員を特派し來り準備中なり ▲學校組合會 群山學校組合大正六年度豫算案の件に付二十七日學校組合會議を開催すべし ▲商議協議會 群山商業會議所にては二十三日協議員會を開き會議所移轉敷地の件に付凝議する處ありしが遂に決定するに至らざりし ▲米商役員會 群山米穀商組合にては二十日組合樓上に役員會を開き滯貨問題當時鐵道局と契約せる運送の件に付凝議する處ありたり

大邱

▲大邱學校組合會議 廿六日午後一時半より大邱學校組合にては組合會議を府廳樓上にて開き大正六年度組合戶別割賦課率改正及び小學校授業料三十錢なるを十錢增徵の件を附議せしが採決するに至らずして午後四時四十分閉會し廿八日午後一時より續會開會の筈 ▲服部警務部長檢閱 服部本道警務部長は二月二十七日より十一日間の豫定にて金泉、知禮、晋州、馬山、鎭海方面視察の爲出張 ▲林業技手會議 慶尙北道廳にては管內各郡駐在林業技手會議を二十六日より三日間道廳樓上に於て開催 ▲吉村二部長寄附 今回本道第二部長より全南道二部長に轉任せる吉村謙一郎氏は金五十圓を大邱尋常高等小學校御眞影奉安所建設費として寄附したり ▲大邱公友會開會 大邱公友會にては臨時會を二十七日午後六時より明石に於て開催し種々協議する所ありたり

大連より

▲御慰問使の日程 御慰問使侍從武官尾藤少將一行は二十七日午後旅順到著將校集會所に宿泊すべく同日は陸軍部及び憲兵隊を慰問後白玉山納骨祠に參拜し二十八日は要港部を慰問し一日は各部隊を巡視し二日午後二時出發柳樹屯に向ふべき豫定也 ▲旅順閉塞記念日 廿四日は日露戰役に於ける第一回旅順閉塞戰の記念日に付午後十時より黑井司令官以下將校及び防備隊水雷艇驅逐隊の將卒は埋葬碑前に參拜し英魂を慰めたり ▲千代田旅順歸港 去月旅順より吳軍港へ航行の途中關門外に於て風雪の爲め坐洲し艦體に小破損を爲したる千代田艦は其後吳軍港にて修理を了へ交代兵を乘せて二十四日午後二時旅順に歸港せり ▲撫順炭坑善後策 撫順炭坑にては長を中心に每日會議を開きつゝあり中央事務所樓上にて幹部集合米倉坑大山坑善後策が主なる問題なりと ▲沙河口工場水源 滿鐵沙河口工場の水源池は四個の井戶を掘り湧水量一千噸以上に達せるを以て目下工場の所要水量には充分なるが來年度工場の事業擴張せらるゝに從ひ水量增加すべきを以て更に一個の井戶を掘鑿すべく目下調查中なり ▲鞍山站水源調查 鞍山站製鐵所開設に要する水量は第一期計畫に於て約三萬噸以上に達すべき見込なるが其の水源は之を太子河に求むべく當初太子河より鐵管を敷設して引込むべき計畫なりしも鞍山站附近を流るゝ千山河は夏季水量多く優に水源地として選定の價値あるを以て之を利用すべく目下調查中にて萬一水量不足の場合は太子河より引込むべしと

人事消息

▲矢野久三郎氏(釜山稅關長) 二十六日附出府を命ぜらる
▲鈴木拔藏氏(總督府技師) 同日附咸興に出張を命ぜらる
▲永井松次郎氏(土木局仁川出張所技師) 同日附龍山に出張を命ぜらる
▲岡田虎輔氏(總督府技師) 同日附全北忠南北慶南北へ出張を命ぜらる
▲生田清三郎氏(水產課長) 同日附仁川へ
▲葛浦若太郎氏(總督府技師) 同上
▲高橋鍬次郎氏(總督府武官) 同日附溫泉里附近へ出張を命ぜらる
▲鹿原文一氏(總督府技師) 二十四日附全南へ
▲渡邊榮吉氏(總督府技師) 二十六日慶南北へ出張せり
▲鶴鎭太郎氏(京城實業家) 內地旅行中の所二十六日夜南大門著列車にて歸京
▲寺島才二郎氏(群山警察署長警視) 二十七日午前仁川へ
▲小柳喜三郎氏(海軍大尉) 歐洲出張の途二十七日午前京城通過北行
▲牧山耕藏氏(朝鮮公論社長) 福岡滯在中の處二十七日午後九時南大門驛著列車にて歸京暫時滯京の上更らに出發の筈
▲大垣丈夫氏(京城通信社長) 二十八日朝歸京の筈

逐鹿夜話

△東京市の立候補は約二十人で何れも堂々たる宣言書を公表し乃公出ずんば天下を奈何せんの慨を示して居る處が最近名乘りを揚げた岡田榮一君と云ふ人は一風變つて僅かに數行の宣言書を有權者に配布したが其の文句に曰く『私は祖先以來二百有餘年江戶に在住三河武士の後裔にして大に江戶ッ子主義を發揮し微力ながら任俠を以て任ずるものに御座候』とあつて政見や主義や鯱子張つた處は少しもないとは洒落て居る △何時も自分の懷を痛めず當選するのは盲目の高木正年君であろう先年の總選擧の際は有權者から現金や米俵や炭俵が非常に集まつたが今回も既に二千圓以上の寄附があり米俵炭俵も續々舞込んで來るとの事有權者から運動費を供給して貰つて當選するのは天下廣しと雖も高木君唯一人だらう △前の常陸山今の相撲年寄出羽の海君前回も立候補を噂されたが性來の政治好きと見ね今度もヂッとして居られず鄕里の水戶へ太田政三君の應援に行つた處が運動員の來襲が餘り猛烈なのに辟易して東京に逃げ歸つたすると今度は東京の候補者や運動員が更らに猛烈な攻擊で愈々往生し『之れ計りは得意の掬ひ投げも利きませぬ』と匆々名古屋方面へ逃げ出したとか △仙臺の村松山壽君首藤陸三翁を引退させやうとすると首藤翁は『今回だけ』を唯一の看板としてサッサと名乘りを揚げた村松君驚いて選擧區民の意嚮を聞くと『首藤さんは貧乏でも今度限りですが村松さんは首藤さん以上の貧乏でおまけに未來があるから大分荷厄介で……』と來たので村松君聯合會の傑にも野次れず大に悄つてオヤ〳〵

●ニセアカシヤから香水

平壤郊外滿山五百町歩の花 丸見屋から店員が出張する

ニセアカシヤの花瓣より香料を採取するは既に事新しく云ふまでもなく既に滿洲に行はれ居り之れを原料とせる製品、アカシヤ香水

▲アカシヤ石鹸 などは大運に製造販賣しつゝあるが朝鮮に於ては未だ是等の香料の採取に從事し居るものを聽かざるが東京に於てミツワ石鹸を以て有名なる丸見屋商店は逸早くも朝鮮のニセアカシヤの香料採取に著目し過日平壤に本社を置く西鮮造林株式會社に其旨照會ありしが同社は

▲約五百町歩に アカシヤを栽植し居り苗木の販賣、種子の分配等を始め薪炭原料となしつゝあり其花瓣は今日迄何等利用する處なかりしものから造林會社は右の照會に接し一種の廢物利用なれば大に喜び滿山の開花は悉く提供すべく回答したるやにて丸見屋商店は今夏盛花の時季を見計らひ社員を派遣すべく内定せりと尚ほアカシヤの結實よりは

▲機械油を採取 すべく目下試驗中なりと云へば是れ又朝鮮に於ける一新化學工業と云ふべし（平壤）

●平壤組と大邱組が張合つて

京城の妓生組合が分裂した

京城に妓生の組合が三つある其一つの茶洞妓生組合と云ふのは平壤の妓生が中心となつて創立されたもので今でも平壤の妓生は七十餘名の多きに上つて居るが南の妓生即ち大邱とか晉州あたりのものは

▲其半數に過ぎぬ 有樣で啻に數ばかりでなく性質と云ひ歌と云ひ其他の習慣が自づと異つて居つて嶺南の妓生は平壤の妓生に始終厭せられて居る傾であつたそこで嶺南の妓生卅餘名は今度茶洞妓生組合と分離して別に一組合を立てることになり

▲漢南妓生組合 と稱して清進洞に組合事務所を定めたが其筋の許可あり次第大々的活動をして茶洞妓生組合の向を張る計畫だそうだ

◇神武門内の春 櫻桃の蕾も膨みて

●島民三十七名 檢事局へ

[illegible]を積載し一月三十日仁川に向け航行中富川郡[illegible]面大無衣島附近にて流氷に衝突して船體挫損したるより同[illegible]られたる事發覺し此程仁川署の手に三十七名逮捕され取調べの上檢事局へ送られたり

[illegible]

●榊丸の遭難者

釜山を出發す

去る十二日全羅北道青島沖に於て風波の爲め遭難沈沒せし神戶松昌洋行船舶部汽船榊丸の生存者機關長尾道十郎二等運轉士能川利吉氏以下十五名及び漂流中凍死せし水夫一名の遺骨は出迎の爲め出張し來りし船主代理者天野康夫氏に伴はれ廿六日午前群山を發し同午後七時著列車にて釜山に著し直ちに關釜連絡船高麗丸にて神戶に向ひたるが舵夫蛙田忠藏一人のみは無傷なるも其他會員は足部凍傷を負ひ繃帶を施し水夫溝口梅太郎は避難のためボート取卸の際怒濤に跳ね飛されたるを救ひ上げられたるも右手を挫折し重傷を負ひ居れり又生存者中油差赤尾伍市は重傷の爲め群山に殘りて療養中なりと（釜山）

●荒繩で家族を縛り上ぐ

忠南公州郡雞龍面中壯里崔奭鉉(三七)同郡反浦面道岩里崔宅根(三〇)崔縉洙(四七)林正喆(三四)等は共謀し昨年十月二十七日夜同道論山郡可也谷面六谷里徐浦勳方に侵入し荒繩にて家人四名を縛り上げ棍棒にて毆打負傷せしめ現金一圓四十錢衣類雜品九點を掠奪したるを手初めに同樣手段にて外四箇所にて強盜を働き公州地方法院にて奭鉉は懲役十年他は何れも同十二年の判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴せり

●青島の支那村から千三百圓を強奪した兇漢浴槽の中で警官と挌鬪して捕はる

山口縣厚狹郡厚西村ペンキ職野村賢助(三六)は舊臘草梁に來り日本亭仲居山口なほ(三〇)なる情婦の許に寄食し附近の遊廓、飲食店を荒し廻り擧動不審なるより釜山警察署の樋口刑事が注意中彼は愛媛縣喜多郡五條富時京城、龍山榮町下宿高橋むめ方ペンキ職高根龜吉(三〇)外一名鮮人三名と共謀し青島に行き昨年八月九日附近の支那村を脅迫して千三百圓を強奪し逃げ來り居るを淺井巡査と共力して二十四日午後六時野村が新玉湯に入浴中を見澄して逮捕に向ひ湯槽の中で挌鬪して捕はれ高根は二十五日龍山憲兵分隊にて取押へ二十六日釜山に押送し來れり（釜山特電）

●女裝して悪漢四名を捕縛

過般來大邱三笠町、村上町、錦町方面へ夜中怪しき鮮人が現はれ通行の内鮮婦人に怪しからぬ振舞を爲すとの風說頻々たるより大邱警察署にては數名の警官を女裝せしめ去る二十三四日の兩夜前記三笠町方面を徘徊中果して怪しき内鮮人男四名が現はれ女裝の警官とも知らず巫戯けかゝりしより直に捕縛して本署に引致し取調べたる結果大邱上町大工李龍(三二)新町菓子製造業高昌彦(二一)村上町木炭商寺岡伊八(三〇)新町魚商林石劍(三六)と判明し中寺岡伊八を拘留二十日に處し他の三名は目下引續き取調中なり

●力彌は抑留

強盜犯人島内宗雄の情婦京城新町遊廓朝鮮樓娼妓力彌は二十六日夜釜山に到著釜山警察署に抑留されたり（釜山特電）

●出刃庖丁を揮つて憲兵と挌鬪す

里民を脅迫せる悪漢遂に捕はる

平安南道大同郡東津面多必里無職任大健は去る二月十七日同里任鼎沫の宅に赴き金百圓を調達して提供せざれば汝の一家を鏖殺すべしと脅迫し一度立去りしが

▲同夜再び來り 裏口の戸を棍棒にて打破らんとせしより鼎沫は大に恐怖し斯くと江西憲兵派遣所に急訴したれば同所より南部上等兵補助員三名を隨へ現場に出張したるも其折は既に任大健は逃走したる跡なりしかば南部上等兵補助員の一隊は任の一家を包圍し表口より飛込まんとしたるに兇漢は刄渡七寸餘の出刃庖丁を翳して上等兵の前額部に切付けたれば憫を起して拳銃を續けさまに三發射放したるに流石の任大健も辟易し裏口より逃走したるを追跡して十餘町を距りたる石山と稱する

▲山中に於いて 大挌鬪の末逮捕したるが任は客冬中江西郡地方に於て強盜を働きたる形跡あり目下取調中なりと（平壤）

●難破船を襲つた十八名は笞刑

仁川警察署管内富川郡大埠島龍遊面朴相玉(三二)外十七名は本月初旬より難破船が同島に漂著したるに乘じ大豆及び小麥十三石を竊取したる事は當時報道したるが仁川支廳に於て取調べ中の處二十五日各笞六十に處せられたり（仁川）

●二萬人の糞便檢查

門司へ六十八名の看護婦應援

門司では今回虎列剌病に對し大々的豫防を爲す計畫にて二十八日より三週間に涉り門司市に於て陸上下級勞働者約二萬人と海上艀船乘組員の糞便檢查を勵行する爲め總督府より六十八名の看護婦應援の爲め二十六日門司に到著したり（門司特電）

●鮮女劇藥自殺

京城和泉町李宜世方同居張泰寬妻金姓女(四八)は二十六日午前六時半頃居宅にて苛性曹達を服用して自殺を企て苦悶を家人が發見し本町警察署より係員警察醫出張し應急手當を加へし爲め生命に異狀なし同人の夫泰寬は目下咸北地方に出稼中なるが二十二日隣家金永后の妻李永淑(三四)より金姓女が永后と私通したりと罵られたるより李永淑の實父化西に其の無實を訴へたるに二十五日又々同人より惡口されたるより自棄喧嘩の末此の始末に及びたるものなりと

●大泥棒捕はる

龍山元町三丁目前科二犯村春雄(二十)は二月十六日午後四時半頃京城明治町一丁目某方にて手提金庫(印章、帳簿、貯金通帳、債券、約手等八十六圓餘在中)のものを竊取したるを手初めに左記内地人宅より多額の金品を竊取し此程本町警察署に捕はる

▲太平通二丁目高田▲南大門通五丁目澤田▲三坂通櫻井田▲西小門町鈴木▲武橋町輪原▲明治町田島▲元町一丁目明坂町金山▲太平通三丁目山内▲吉野町二丁目山田▲西大門島町原▲南大門通二丁目森▲水下町鎌田▲大

●夫に養育料請求

當時大連北大山通林幹二方同居錢谷合行は明治四十二年釜山草梁町に居住せる際篠田こまと内緣を結び同棲中こまは合行の胤を宿し二女を分娩したるに大正四年八月三十日何かのことより夫婦喧嘩の揚句こまは次女の富美榮を連れ遠方なる富平町二丁目篠田國吉方に逃げ歸りたる儘歸宅せず其後合行は現在の所に移住し居たるに同年九月頃に至りこまより富美榮の引取方を迫り來りしより承諾したる後突然大連に居住の松井修刻なる者を代人とし養育料を要求し來りたる爲め合行はこまの行爲を憤り釜山署へ届けこまの居所並に事實の取調方を願ひ越したりと（釜山）

●石油罐の火事

釜山本町一丁目四十六番地の一飲食店森川貞恭方の同居人佐藤賴一(二六)は二十五日午後一時頃火を起さんと同店の軒先にて七輪に木炭を入れ石油を振掛け火を移したるも燃え上らざるより石油罐より直ちに七輪に石油を注がんとせしに七輪の火が燃え立ち石油罐に移り大事に至らんとせしを晝間のこととて附近の人々駈け附け消防

●艀船人夫の惡事

全羅南道濟州島七山面生れ當時仁川月尾島居住李世彥方同居中の金基石(三二)は昨年末より松本要五郎所有艀船人夫として從事中本船よりの荷揚に際し米五斗大豆一石餘を拔き取りたる事發覺し二十五日仁川支廳に於て懲役八箇月の申渡ありたり（仁川）

●亡者に祟らる

岡山縣上房郡生れの立野平作(三八)は京城本町三丁目小林某を出資者とし月十八圓の手當を受け朝鮮葬儀社事務擔當中昨年十一月迄に葬儀用具十數點（二百三圓）を橫領入質して消費し京城地方法院にて懲役一年一箇月の判決を受け不服として同覆審法院に控訴す

●賣掛代金費消

佐賀縣西松浦郡牧島村生れの黑川五郎(三〇)は京城本町二丁目江里口某店に雇はれ中昨年三月より十一月迄の間に賣掛代金二百二十三圓餘を橫領消費し京城地方法院にて懲役一年の判決を受け同覆審法院に控訴したり

●失火の罪

仁川警察署管內文鶴面自興里[illegible](三七)は本月十六日仁川花町二丁目坑與宅方に於て同僚の李龍相と爭論の後火鉢を投げつけ遂に失火せしめ延燒六戸に及びたる爲め仁川警察署に於ては引致取調べの上仁川支廳に押送し審理中の處二十六日笞六十に處せらる（仁川）

町内のご自慢

▲永樂町二丁目▲

芽出度い名前に變つて

□總代さんは少々不平顏

永樂町二丁目は大通りの左右、總數二百餘戸の家々は多く其の兩側に軒をならべ甍を連ねる、時として此の通りを南北に貫ぬき

▽總代の自動車や政務總監の馬車が通ることもある

店並はみた粒の揃うた家ばかり酒屋もあれば、印刷所もあれば洋服屋もあり毛革屋もありお醫者もある、またお屋敷では石塚東拓總裁の邸から松永道長官、趙重應子爵、具警務官なんどの宅もありそれに夜學の研究會から朝鮮農業會社もある

▽此の町は以前竹洞と稱し本町通りからすつと鮮人の温突家屋につゞいて居たが民國となつて芽出度い永樂町となり、併し其の後只今の町並となつた、次の市區改正には幅十二間の大通りとなつて再び京城内地人市街の中央となるであらう、町總代佐藤磯次郎さんは明治三十年以來

▽京城に居た人で瀨戶物屋の佐藤さんと云へば町内の顏利き總代となつてからも十年あまりになるとはいよ〱永い、佐藤さんが町總代として悦しかつたのは先年今上陛下が東宮として御成の時分であつたあの時は町内が七八十戸に足る足らずで三百圓餘りの金が集りましたが只今は二百餘戸で二百圓もむづかしいと總代さんは少々不平顏

▽永樂町の地價は昨今坪五六十圓で學校組合の見立ては卅五圓だ相な「此の町にはなんにも自慢がごわせんな」は磯次郎さんの御挨拶、寫眞は死んでも嫌ひと云つたのをとう〱此の通り

永樂町二丁目總代 佐藤磯次郎君

灯ともし頃

東京停車場ホテルに陣取つてゐた石塚東拓總裁▲二月上旬食事をすると水月の所がポコ〱輕く動く▲それが動悸としては強すぎ、と云つて酷く水月が鳴ると云ふ程でもない▲總裁、薄氣味が悪いので入澤博士の健康診斷を受けたが、別に惡い所はないとの事▲然しながら水月のポコ〱するのは、癌か膽石の前徴に多い、それに總裁の年頃が癌か膽石に罹り易い時期だと云はれ▲總裁はコイツは變だぞ……と早速大學病院の入澤内科で前後三日半、エッキス光線に全身を照らされ、隈なく診てもらつた▲何でも病院では食物を咀嚼して胃に入れ、胃中で消化の上腸を傳つて行く所まで殘る方なく診察を受けたが、結局惡い所はなかつた▲『まだ乃公も死ぬのは早い癌の前徴と聞いてはギクリとしたよ▲多分此の半年ばかり運動不足だから、其の故だらうか』とは、いかにも病氣はイヤだと云ふ顏をしての總裁の談

▲課題募集規定 懸賞募集規程 同形の選紙一枚毎に匿名の外に住所氏名[illegible]は一週間後▲種類[illegible]

曇り後晴れ [illegible]

司演藝案内

浪花館 明治町 電話二六〇

〇二月廿四日より毎夜五時開演 △女流浪界の横綱廣澤夏菊一行來る 各位益々御繁榮大賀候陳者名古屋各地に於て大高評を博したる女流浪界の横綱廣澤夏菊外十數名若手揃の大一座今般好浪家の御勸めに從ひ内地より招待致し當る二月廿四日より花々敷開演可仕候間賑々敷御來觀の程偏に奉願上候

毎夜讀物續き△柳生飛騨守 敵討(廣澤菊若)△寬政力士傳(廣澤照月)△豐臣三童兒(廣澤浪花)△浪花館主の娘(廣澤菊樂)△水戶漫遊記(京山相生)△廣澤探偵苦心談(京山昭勝)△義と勇、寬永勇婦傳(廣澤夏菊)

四日目引續き滿員 家庭劇「裾野」 連日滿員御禮として廿七日より向ふ四日間 大朝讀者デー開催 三月二日迄日延べ仕候 大正館

黃金館 早川商會 電話三六三七 天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店

二月二十四日よりの新番組 ▲米國カレム會社特作品世界珍畫の公開 ■マキシム 滿田平太郎劇 全五卷 奇々怪々を極める夜半の巴里の裡面を最も露骨に最も大膽に現はさるキネマ界の珍寶 ■英國レザエント會社代表的作品 ■新派悲劇 軍事活劇 護國の曲 悲壯なる護國の曲見よ勇壯なる戰國の士 ■舊劇 實錄小笠原隼人 全五卷八十五場 劇術を以て已れの命とせる嵐璃德の大一座が名擬の好評に應じたる的り狂言從來の舊劇ものとは全然其の趣きを異にす見よ璃德の藝を

▲滑稽 玉子 (六時より) ▲軍事活劇 護國の曲 四卷 (六時二十分より) ▲新派 マキシム 五卷 (八時十分より) ▲舊劇 小笠原隼人 五卷 (九時四十分より) 其他實寫喜劇等數番

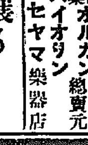
大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

〇二月二十三日より特別大興行 〇實寫 伊太利皇帝トリノ市へ行啓 〇滑稽 マアクスの馬 〇喜劇 メリーセンブルの玉子 △社會劇「倫敦の燈火」(全四卷) △舊劇「怪力坊傳」(全四卷) △蒲生下野守 [illegible]

謝罪廣告

慶南晉州郡晉州面飛鳳洞 右の者去る大正六年二月八日晉州郡晉州面內城洞住中御庄太郎氏に對し面白からぬ嫌疑あるが如く口外せしは全くの誤解にして同氏に對し面目無之依て謝罪の誠意を表する爲め紙上を以て此段謝罪仕候也 自在丸[illegible]

京城本町 山葉オルガン バイオリン 總發賣元 セヤマ樂器店



●老舖讓る

十年以上經營し毎年純益二千圓内外ある某飲食店(京城目拔の場所目下盛業しつゝあり)今般家事の都合上不得止至急歸國有姿の儘格安讓る御希望の方は南大門通り五丁目廣岡藥店へ御來談を乞ふ希望者の都合上至極便利の方法もある委細對面の上

孫ミチ子儀病氣の處養生不相叶廿六日死去致候間此段謹告仕候追而葬儀は途中葬列を廢し三月一日午後五時寺に於て相營み可申候勝手乍ら供花放鳥等の御贈與は堅く御辭退申上候

大正六年二月廿七日 奧田貞次郎 同 建夫

義手足 せきずいコルセット 大きん玉ナヲス器械 京城本町二丁目五一 手足專門 高野義製作所 電話一〇六六 新案輕便擊丸釣發賣 (見本進呈)

東洋生命保險株式會社

大正五年度決算公告

(自一月一日至十二月卅一日)

貸借對照表

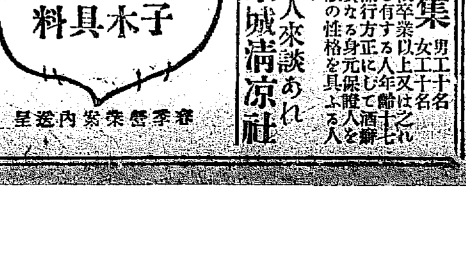
資產		負債	
未拂込株金	七五〇、〇〇〇、〇〇〇	株金	壹、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
現金	[illegible]	法定準備金	[illegible]
郵便振替貯金	[illegible]	責任準備金	[illegible]
銀行預金	[illegible]	支拂備金	[illegible]
貸付金	[illegible]	保險契約者配當積立金	[illegible]
有價證券	[illegible]	長期組合保險配當積立金	[illegible]
不動產	[illegible]	株主再配當積立金	[illegible]
什器	[illegible]	株主配當未拂金	[illegible]
未收利息	[illegible]	保險契約者配當未拂金	[illegible]
未收保險料	[illegible]	社員身元保證金	[illegible]
代理店勘定	[illegible]	假受金	[illegible]
支店勘定	[illegible]	利益金	[illegible]
出張所勘定	[illegible]	合計	[illegible]
假拂金	[illegible]		
合計	[illegible]		

差引利益金之ヲ處分スルコト左ノ如シ

法定準備金	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
株主配當金(年壹割)	[illegible]
保險契約者配當積立金	[illegible]
株主再配當積立金	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

大正六年二月

取締役社長 尾高次郎
專務取締役 佐々木清麿
常務取締役 日下義雄
取締役 西谷金藏
取締役 古城菅堂
取締役 鎌田勝太郎
監査役 井上敏夫
監査役 [illegible]



京城本町三丁目 京城勸農園 電話七〇四番 振替京城五六番

職工募集 男工十名 女工十名

男工は高等小學校卒業以上又は之れに相當する資格を有する人年齡十七歲より三十歲迄品行方正にして酒癖無くして市內確實なる身元保證人を要す、女工は謹淑の性格を具ふる人身元保證者を要す

希望者は本人來談あれ

京城府岡崎町八番地 京城清涼社

●門葉百萬の喜び

東本願寺法嗣光養麿君の得度式

四千五百の疊、千餘の障子を清めて

東本願寺法嗣光養麿君の得度式は四月一日親鸞聖人の誕生日を以て最も嚴格に擧行せらるゝが

◇法嗣は　本年十五歳の春を迎へ三月京都市内銅駝小學校を卒業し九月を以て眞宗京都中學に入學して正しく

◇法主道　を修學する由得度式は佛門の通規として出俗入神の法式なるも眞宗別途の上に於ては本願寺第二十四世の法燈を繼ぐ百萬の

◇門葉を　教導すべき適瓶儀の基礎こゝに定まる重要の儀式にして諸宗に觀るべからざる盛儀たり且つ三門跡の揃へること他宗派にも甚だ稀れとする處なりされば

◇同本山　に於ては去月以來得度準備調査會を開き阿部事務總長を總務部長に法務、教務、内事、監正、接待、調度の七課に分ち著々

◇準備を　進め居れるが一方香立の披露を全國各樞要地に開演し一般門末に趣意の普及を圖り二月初旬以來本山重役を初め

◇屈指の　布教使數十名を特派しつゝあり得度式の準備は期日の切迫すると共に著々進捗し當日の式儀に前法主光瑩師は證誡師に

◇當法主　光演師は和尚に其他一門の連枝以下に其々配役せり尚約四千五百疊の疊を換へ千餘の障子を張り換へ和洋折衷の

◇應接所　を新築せり尚法嗣の裝束十餘種を初め得度式の用具等數十種悉く新調されたり右につき團參募集に着手せる地方は少からず北國東海のみにて

◇數百の　もの十數團あるべし四月一日には饗の御膳得度式引次ぎ三門跡の御禮受けありて二日は終日大寢殿に門末の饗應

◇三日は　枳殼邸の園遊會の順序なるが上京信徒の爲め二三兩日歸敬式あり又二日より五日まで大師堂門樓上の參拜を許すと末寺僧侶の得度は定例十四日を都合にて四日繰り上げられたるが法嗣と同日の得度を受け得ることゝて授式者は多かるべし

◇舊六條　地内の各町にては祝賀の意を表し旗球燈アーチなどを以て町内を飾るべく門前には電燈瓦斯燈等にて裝飾を施すべしと（大阪支局）

●煉炭は皆朝鮮から

井出軍務局長釜山にて曰く

海軍省軍務局長海軍少將井出謙治氏は第二艦隊附として數年海上勤務に在りしが昨年十二月現職に轉補せられたるを以て各鎭守府の施設を視察すべく出張を命ぜられ廿四日東京を發足廿六日午前九時釜山入港關釜連絡船高麗丸にて上陸同十時三十分發北行列車にて馬山に赴き同地にて鎭海要港部より回航し待合せ居れる汽艇に搭乘鎭海要港部を視察し二日滯在廿八日午後八時三十分出港連絡船にて門司上陸同地より佐世保軍港を視察し吳、舞鶴を經て本省に歸任する豫定なるが廿六日午前發車待合中高麗丸待合室に於て往訪の記者に語りて曰く

予は日獨開戰當時は第二艦隊に屬し南米に派遣せられ久しく同方面の任務に在り引續き昨年末迄專ら海上勤務たりしに昨年十二月に

▽本省勤務に　轉じたる爲め一通り各鎭守府の視察調査を爲すべき要あり今回は其れが爲め出張し來りたるものにして他に何等の意味を有し居れるにあらず予は嘗て四年前に朝鮮に來りしことあり其間僅かの歳月を經たるに拘らず朝鮮は著しく發達したりと聞けり船上より一瞥するも其當時に比すれば餘程發展し居れる樣に感ぜられ國家の爲に喜ばしき次第なり近頃は種々の工業を起すべき計畫ありと聞けり

▽平壤鑛業所　の如きも從來は僅かに十五萬噸の無煙炭を採掘し德山煉炭製造所に輸送する而已なりしも海軍省は大正六年度より三年計畫にて三百萬圓の經費を投じ平壤に煉炭製造所を創設すべき計畫の下に豫算を計上しありたるも議會解散の爲め延期せざるを得ざるに至りしは甚だ遺憾なり日本に於ける海軍用煉炭製造所は天草無煙炭にて製造せる長崎縣土井の首の煉炭製造所あり之は最初の煉炭製造所たりし因縁上五萬噸許りつゝ製造せしめ居れり而して德山煉炭所は總て平壤の無煙炭を原料として製造し居れば毎年約十五萬噸は製造し得べく加ふるに近く平壤に於て煉炭の製造を開始するに至らば艦艇に燃料供給の上に一層の利便を得るに至るべし云々（釜山）

◇軍艦見物△4▽艦の忘れ物

▽艦の中に罰金箱と云ふ大きな箱がある。これは當直士官が巡檢の時、定所以外の所に置き放してある物品は官給品でも私有品でも又それが艦長の物であらうと遠慮なしに取り上げてこの箱の中へ沒收してしまふ

▽そして毎週一度箱を開いて各所有者に返還される。それを唯では返されぬ、罰金を徴集する一人一個毎に卒は三錢、准士官以上五錢、少尉以上十錢、少佐以上廿錢と云ふ規則だ急いで返して欲しいものに限り二倍の罰金を徴られる

▽『この靴は誰れか、誰も所有者は無いか、岩夫ネプーチユンの靴でも無さ相だが……』『齒刷毛一本、大分毛が脱けて居るぞ、所有者はないか、何んだ印度洋の餞の忘れものだ？』ハヽヽヽ』

▽所有者の判らぬ物、罰金を出して返して貰ふ價値のないもの等、後に殘つた[illegible]は競賣にして了ふ

▽その金は勿論記念日のおしるこにもなり煎餅にも化ける相だ

▽外[illegible]されて風邪を引いた先生や帽子を取られて借金をして返して[illegible]するのも有ります』（千帆）

△鮃の附燒　酒と醬油とを半々にして好く掻きまわした中に二十分ほど經てから引揚げ金串に刺し皮を下にして燒き粉山椒をかけて供す

●朝鮮煙草の新製　朝鮮煙草會社にては今回口付煙草『花扇』及び兩切『グローブ』の兩種を新たに發賣する事となれるが花扇は二十本入十錢とし『敷島』と匹敵し、グローブは十本入五錢にて英米トラストの『パイレート』に對抗せしめんと同社が製造せるものゝ由

●加藤神社神前結婚式　龍山加藤神社にては本月二十二日午後三時より若槻宮三氏の媒介にて鈴木小平次と矢ヶ部うら子との結婚式を擧げたり先づ祓の式終りて神饌數十基を獻じ同社主精婚式の祝詞を奏上し夫より新郎新婦の三三九度の盃あり親族一同の盃終り一同玉串を捧げ同五時目出度式を終了せり

商況

公債直取引（二十六日出來値）

東京	
五分利特別	九五、四〇
五分利甲號	—
一回四分	八二、四〇
二回四分	八三、四〇
甲五分	九五、四〇

深川在米特電（二十六日現在高）

朝鮮米	二四五、九八八
蘭貢米	一〇〇、六三八
内地米	一八七、四二三九〇

東京期米特電（二十六日前場・四月限）

寄付	一五、六六
高値	一五、六六
安値	一五、六〇
止め	一五、六一

大阪株式（廿六日後場）

種類	拂込額	前場	後場
宇治川水	[illegible]	[illegible]	—
神戸電鐵	[illegible]	[illegible]	—
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]	—
和歌山電	[illegible]	[illegible]	—
合同紡績	[illegible]	[illegible]	—
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	—
同上新株	[illegible]	[illegible]	—
東洋精糖	[illegible]	[illegible]	—
大阪商船	[illegible]	[illegible]	—
日本郵船	[illegible]	[illegible]	—
大阪米穀	[illegible]	[illegible]	—
東京新株	[illegible]	[illegible]	—
大阪新株	[illegible]	[illegible]	—

大阪期米特電（二十七日前場）

當限寄付	一四、二二
中限寄付	一五、二二
先限寄付	一五、三五
止め	—

下關期米特電（二十七日前場）

	當限	中限	先限
寄付	一四、[illegible]	一四、[illegible]	一四、[illegible]
高値	一四、[illegible]	一四、[illegible]	一四、[illegible]
安値	一四、[illegible]	一四、[illegible]	一四、[illegible]
止め	一四、[illegible]	一四、[illegible]	一四、[illegible]

受渡石數　二三五〇石

雜報

●綿糸跳返す　綿糸先物　本日米棉二十錢高綿布の入電にて前日の下げ相場を十五錢とのみ變りなし反動的に跳返せり

●朝鮮寒天の好望　朝鮮に於ける石花菜の移出高は年々莫大の額に達すれど寒天製造業は微々として振はず鮮内の需要は内地產を以て之に充て年額一萬斤内外を移入する狀況なりしが最近各地に於て之が製造を開始され前途頗る有望なるを認めらるゝに到れり大正五年度總督府の調査によれば

石花菜移輸出　高は百五十二萬斤此價格二十一萬二千七百餘圓にして前年に比べて二十六萬斤三萬七千圓の減少を示し

製造移出高　は五年度三萬三千二百餘斤にして前年より八千斤餘

四千七百圓の減少なり　但し製造高は明かならざるも未だ多からず原料とても内地伊豆志摩地方の一等品に及ばざる事遠く製品未だ朝鮮物として一般に認められ居らず

内地中等品に相當　の地位に立ちしが近年製造の成績宜しく鮮内の消費次第に增加し製品の品位も内地中等品に到り昨年秋以降に於ける事確められつゝあり

製造額頓に增加　し目下梁山に一箇所大邱に二箇所の工場ありて年額約三萬斤の原料を使用するに至り之が製造高は三分の一に及べり又本年は内地當業者組合が製造に制限を加へ居れる際とて買込み困難なるも

内外市場の形勢　は如しこれら出土地の關係に因る近來鮮産品は其將來頗る有望なるものあり

其將來頗る有望　なり而して寒天の用途頗る廣く僅に代用品として使用しまた機械用の糊として種々の方面に需要さるゝに到りて内地より輸出額に增加しつゝあるが之等の消費區域は一部分に過ぎざる由なれば一般に普及されむには更に莫大の需用を惹起さるゝにより朝鮮寒天は鐵道と共に期待さる

の便ありこゝに廣大なる販路を有することゝなり内地同業者に比して遜色もなく有利の地位に立つものと云ふべく更に本年度製造高は全鮮海藻產高の五六一分の一にも達せざる少額なれば更に擴張の餘地あれば其將來測るべからざるものあらんと

●甲皮類益々強硬　最近皮革類の稍々頹勢に傾きたるに反し甲皮類は活氣溢り昨今益々市價の向上を促がしつゝあり現下の市中取引はキツド黑一坪一圓二十五錢乃至一圓四十錢ボツクス七十五錢本月に入り二割以上の騰貴を告げ

餘勢尚一段の高値を現出せん傾向なるのみならずボツクス皮の如き原皮の昂騰と銀面の粗惡なる爲め製出品は多く劣等品を出だし製造者をして採算不引合の歎を高からしめつゝあり

或は此際當分製造休止の外策なからん目下寄々協議中なる旨報じ今後の需要手控へ人氣は皮と異なり本品類は底製品次第に缺乏を訴へ人氣旺盛なり殊に

哈爾賓方面よりの注文も殺到しつゝある模樣にて業者は何れも四月前後の頃に於ける供給不足を憂慮せるが如し

●朝鮮雜貨近況　あけの解散期とて鮮人むき雜貨は未だ捗々しき荷動きなきも問屋筋は春物の仕入に忙がしく文具類は既に地方に出廻りて新學期の需用を俟ちつゝあるが鮮人の懐中溫かなれば諸品値段高なるにも拘らず相應の賣行きあらむと豫想さる右中

△文具　は内地工賃高の影響の多きが紙は既報の如く内地値上げされしも市中値段は未だ之に伴はず依然保ち合ひ居れど中品拂底なれば

早晩値上　げを免れざるべく對方の騰貴にて一グロス一圓五六十錢より二圓五十錢内外の品薄し賣行よし洋小刀は内地の外國輸出盛んなるため値然品拂底なり

△染料　は英太少々カルタ類は何れも閑散期とて屢々荷動きなきが染料の投物現はれて屢々問屋値段以下に賣買さるゝ模樣なり

△洋傘袋物　は時節近くに從ひ動々移入されつゝあるが何れも工賃高値

仁川期米

▲二十七日前場　兵庫前寄十五錢十一錢

大阪天候少雨

前寄十五圓三十五錢昨止より一錢安の入電二節三十三錢と移り納會中十一圓九十錢と押し九十五錢と返して當地寄十二圓丁度より五錢引先十二圓九十六錢と一錢安に寄付五錢と辷りて動かず保合の折柄

大阪七節四十一錢と久し振の高移りに買物多く無精にも伸びず十二圓九十七錢と押し八錢と依然保合の裡に散會

期米　仁川海岸町三丁目 米豆取引所仲買人

(サ) 齋藤宗之助　電話（サ）三六七・三六九（ヤマサ）

賣買

▲二十七日前場　當限㊀十二圓十一錢九十五錢

一圓九十錢九十五錢平均值二圓㊁十一圓九十五錢三錢四錢五錢平均值九十五錢㊂九十五錢㊃十二

△中限　㊀十二圓九十三錢㊁九十三錢四錢五錢出來高二萬六千七百五十石

△先限　㊀十二圓九十六錢五錢六錢㊁九十六錢

京城正米

元々正米は底堅きに一方期米は大阪の如何に拘らず仁川市場は依然手堅き成行きを示し居る爲め市況は相變らず値安に手放さぬ狀態に之が原料買の進まざる中に又必需品の高値に買進む場合もあり北角相場は上下何れにも動き兼ね居れるもの如し

南大門の廻穀

開城新米五八叺　鳥山白米六九叺　西井米一八五叺　鳥山玄米一〇三叺　平澤玄米二二八叺　西井玄米二五五叺　郡山白米三五一叺　西氷原玄三〇八叺　平澤白米二七叺

仁川市現物場

▲穀入津五六百俵　氣配は依然弱人氣を唱へ居れり

▲正米入津千餘石　氣配は安人氣なるも存外賣腰強く保合を唱へ居れり

▲大豆入津少なし

穀物市場（廿六日）

▲正米（保合）到着品は甘々ながら事とて今買物は更に盛り返す事もある又米主も安値の賣り物が殆るる事あるに於て一般に際立ちたる賣氣よく又米も値段も殆ど穩かになれ止米にて精米口の必需品として今市場に於て依然四十錢あり

▲大豆　賣り物は少々ありたる事はしなるも事は不足（今市場買氣人は帆船穩及び必需品は全て）よりの買進みありたれば氣配は同事なり

玄米二千三百十個、大豆九十四個、粟二〇個

生魚市場

京城日の丸市場より釜山より鮮魚目錄平穩水より踊内地鮮

釜山水產市場（廿六日）入船數百十八艘

△たい二十三圓△小ふか四圓△ぼらか五圓五十錢△ぼら八圓△ひらめ八圓△さわら十九圓△ぼら八圓△なまこ五圓△あなご七圓五十錢△このしろ九圓△のばる八圓△ぶり九圓△雜魚六圓五十錢水揚高二千六百十六圓三十五錢

より鯛の鯖可成りの選者あり建値左の如し

たい四六、あまだい三二、ちぬたい二七、さわら二八、ひらす一四、ひらめ一七、かれい二二、あなご一五、もいび六〇、めばる八、たこ一七、生いわし七、こち一一、れん子一〇、かき一二

市場雲聞

▲依然保合　天候が朝大阪の商況を受けて十二圓九十六錢と寄付五錢と辷り保合居りしが大阪の跡况は伸びず十二圓〇一錢と押し十二圓九十七錢と散會

▲隨て大阪の漸落に附隨　せざる事と具り堅持して前場は亭與期に於ける買物多く無精にも中限に廻りて一節以上の狀況

▲前場の手振　は前日三千石ら（※）三千石❺一千石三千石を各場四千石❼各千石を賣り千石を賣り買して賣買

▲㊇能く賣る　今前場同店よりの方は賣越四千餘石に上りたりとの事一面二千石の買ありたるも注目に値しつゝ

▲㊉能く賣る　前場同店より賣り五玉數三千石に上りたりとの事とて注目に値ひせり

▲㊊能く買ふ　前場同店より賣り五玉數四千石に上りたりとの事一面千石の賣ありたるも注目を惹いたり

▲㊀能く買ふ　前場同店より買ひ玉數四千石に上りたりとの事一面二千石の賣ありたるも注目を惹いたり

▲㊅能く買ふ　前場同店より買ひ五玉數三千石に上りたりとの事一面千石の賣ありたるも注目を惹いたり

▲當限納會　一昨日十二月八十錢を以て發會したる當限の一代は同月七日十三圓四十錢の最高値を頭に同月二日十二圓三十錢を以て最安値となり當限は帆鏡下步調と變じ十二圓四十五錢の安値を示して初立會に二十五錢の安値を示し更に當限に廻り本月十三日には更

▲當限受渡し　二月限の受渡し高は總計せし二萬八千餘石に達したりとの事にて是が既報の如し

出り受渡し方

▲中銀解合　豫て市場の値上りに對する中銀の解合は雜然として場内取引所へ日の買方の一萬七千二百四十五千石に中し買二千石に付いて報ず

▲鳥井筋の間に解合成立

▲當限に渡し中限は全部解合

▲軟派猛省すべし

力以て反對に敵は降

伏しめんとせる所以は前場の狀況に於ける

仁川米豆取引所

二十七日の四月限

寄付	十二圓九十六錢
高値	十二圓九十八錢
安値	十二圓九十一錢
出來	一萬六千七百五十石
前場	十二圓九十五錢

前場平均値段

一節	十二圓九十六錢
二節	十二圓九十六錢
三節	十二圓九十五錢
四節	十二圓九十七錢
五節	十二圓九十九錢

賣買取組高

二月限	一萬四千四百五十石	
三月限	三萬三千二百五十石	
四月限	七萬七千五百石	

二十六日後場　前日と比較

二、九七一	五一高
二、九八一	一高
二、九九一	三高
	四高

青物だより

内地移入は多からず中國地方霜傷みのため品拂底なるにかゝはらず附近の鮮人の園も物が出て青島產の白菜また輸入され京城食糧品市場に於ける建値段は左の如し（各一貫）

水菜四〇以上廿錢一五五錢内地產二八して市中小賣値段は總左（各一貫）

青島產白菜上廿三五錢内地產二八錢、五〇より九〇、百合根一四〇、つくれい七五より八〇蕪菁、一〇〇くわい一一五（各一貫）

一〇より四五〇、ごぼう四〇より三〇、わさび二五

初瓜十本、四五花、きやべつ五〇、見宮瓢瀨瓜一本十二錢人蔘牛蒡の類は前同

京城學校組合告示第壹號

京城學校組合區域內ニ居住スル內地人兒童ニシテ明治四十三年四月二日ヨリ同四十四年四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヨリ就學ノ始期ニ達スルニヨリ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戶籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十八日限リ京城府學務係又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ

大正六年一月十日

朝鮮總督府府尹　金谷充

廣告

當公家所屬統營及昌原郡沿海鱈漁場竝ニ永興郡鮭漁場ハ現營業者ト契約ノ存スルアリ故ニ轉貸又ハ讓渡シ得ベキ者ニ非サルニ拘ラス近來該契約期限ナキ如ク詐稱シ權利ノ賣買讓渡及其ノ豫約ナドスル者アル由是レ當公家ノ關知スル所ニアラズ

大正六年二月

京城　李墹公家

時計
讀賣
十八金片十二S
寄贈側米國ウオルサム器械入
金四十圓
至二月十五日
仁川本町（根據）
岐阜商店

新荷著
懷中時計
ルグランド
ウオルサム
（ニッケル側）十八形
同　十六形
（片蓋）
同
十二形
十六形
同（兩蓋）
（銀側）ウオルサム入十八形（兩蓋）
同
同
（金側）
同（十年保險）
同（十年保險）
十八形
十二形
同
小店今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの甚だ多し地方御注文に對しては代金引換郵便にて御迅速に發送可仕候

イングレッシー商會
時計、蓄音器、ミシン機、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
本店　京城本町二丁目電話九七二番

天覽台覽

縮刷　時務一家言

蘇峰　德富猪一郎著　定價六十錢　郵稅六錢

『時務一家言』は著者が思想經綸の大經大綱を提げ、所謂る其の輪廓を描きたる者にして、內治、外交、社會、經濟、軍事、教育、學藝、有らゆる方面の問題に觸著し、後來の各種述作、一として此に胚胎せざるは莫く、之を喩へば、『世界の變局』や『大正政局史論』や『大正の青年と帝國の前途』の如く、皆其の各論と見るべし。乃ち本書は他の『經』にして、其の外篇に對する內篇の如し。故に本書の三書とは其首を擧ぐれば尾至り、其尾を擧ぐれば首至り、首尾俱に至る。則ち是れ主義主張の一貫也。思想經綸の本書刊行以來版を重ぬる十有二、所說悉く世界の大戰亂に依りて驗證せられたり。是に於て乎、著者は新版の卷首に增補を加へたり。即ち本書發刊當時一讀して歐洲大亂の勃發に逢ふや云ふ士人、後ち未だ一年ならずして感嘆し、『今にして本書の眞價を知る』と云ふに非ずや、讀面の事也、蘇峰氏は世紀に予言の及ぶ所にして本書は活眼を以て天下の經世家一讀せずんばあるべからず。

發行所　東京市京橋區日吉町　民友社　振替口座一三一〇〇

賣捌所　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

大取次　大阪屋號　日韓書房　巖松堂　各地支局書肆

魚釣具　及　網　投問屋　卸

京城永樂町二丁目　吉備商會　振替京城四三二八番

「御申越し次第定價表進呈」□當地網京商店は內地に引揚げられ候

製造元とのやくそくで

砂糖、麥粉、茸、金巾、燐寸、石油、洋燭、鍋釜、紙子、乾物、罐詰、ビール、サイダー、葡萄酒、淸酒、醬油、染粉、足袋、其他の日鮮人向雜貨食料品

割の安い品そろいの

大おしろい店

仁川本町

河野本店　電話京城二八二番　振替京城一二一番

三月一日ヨリ三日間

新柄友仙破格の提供

モス友仙大市　三十錢均一

セル着尺並に帶地品揃　是非御立寄り願上候

京城本町　丸一吳服店　電六三五番

明君道中記

第七十一席 田邊南龍口演

小濱七郎右衛門はおゆりの後姿を見送つて 七「我が死するとも知らずして出で行く嫁の不愍さよ、又七之助も我切腹と聞いたなら嘸ぞや歎かん此の七郎右衛門が切腹いたして相果たこと御聞きになつたら殿もお心付きに相成り今までの御行状はお改めになるであらう、其の御所行正しくならば五十六萬石の御家は安泰、死を以て主君を諫めるも忠義の一ツ、君の爲には家身を惜まぬ、影ながら主君の御無事を祈り居ります」と茲で

七郎右衛門は諫言書を遺して切腹をいたして相果ました、忠長公も是を聞いて不愍に思召し七郎右衛門の遺骸は懇に吊ひ遣はし、此の程は身を愼み酒宴の御沙汰もございません此方は變つて嫁のおゆり助藏と云ふ供を伴れ駿河より江戸を指して道を急ぎましたが、何を云ふにも女子の足、捗しくは參りません、泊りを重ねて東海道原の宿まで參り駿河屋といふ旅籠屋に著いて風呂に入り食事も濟せて臥床に入りましたが、供の助藏が次ぎの室で何やら考へて居たが 助「考へて見ればつまらねえ話しだ、此の御新造の供をして江戸の若旦那の處へ送り届けた處が、イヤ助藏大きに御苦勞であつたと二朱か一分の小遣を呉れるだけで跡は構はねえ、洵につまらねえ話だ、それより一層のこと今夜此の雨掛の荷物を掠奪つて逃げてしまはふ、中の代物を賣れば二十や三十にはなるから其の方が宜い」とおゆりの睡込むのを待つて居ります、おゆりも旅の勞れが出たかして枕に就くとスヤ〳〵睡入つてしまひました助藏は時刻は宜しと密と其の座敷へ忍んで參り、雨掛を盗み出して雨戸を開けて庭へ出で何處ともなく逃げてしまひました夜が明けておゆりは眼を覺し枕元を見ると荷物は無し助藏も居りませんから驚いて宿の亭主に此の事を話し手分けをして探して貰つたが一向に知れません、幸ひ金子と手紙は胴巻に入れ身體に附けて居りました故是は取られません、宿の拂ひを濟せて原の宿を立つて心細くも只一人、殊に道中は始めての事故前日より猶道も捗りません、沼津の手前まで來た時にはもう夕景に相成つて參りましたから心急き、誰か往來の人が參つたら道を聞うと思ふと、幸ひ向ふより參りましたは一人の出家、おゆりは此の出家に尋ね、ゆ「若し〳〵御出家様、是から沼津と申す處までは未だ餘程ございませうか」出家はおゆりの姿をヂロ〳〵見て居たが 僧「ハヽア沼津まで行きなさるのか ゆ「ハイ 僧「見れば一人旅のやうであるが ゆ「左樣でございます、同件の者もございましたが途中で別れ一人となりまして 僧「ヤレ〳〵女一人では難儀であらう、是から沼津の宿までは未だ五六里ある ゆ「もう何時でございませう 僧「何時と申しても直に日が暮れる、殊に此の街道は物騒で時々間違ひがある、女一人では行かれまい ゆ「左樣でございますか、此の邊は宿屋はございますまいか 僧「沼津まで參らねば宿屋は無い、其の邊まで行けば日は暮れる、困つた譯である ゆ「ハイ 僧「人を助けるは出家の常、お前の困るのを見て此儘見捨て行く譯にもならん、愚僧が居る寺は光山寺と云つて是より四五町程あるが、何と愚僧が寺へ來なさい一夜の宿を貸さうから、それに他には誰も居らぬ愚僧一人じや心配は要らぬ ゆ「有難うございます 僧「明日は愚僧も沼津に用があるから送つて遣りませう」と親切に云つてくれるからおゆりも喜んで彼の出家に附いて參ります、此の出家は如何なる者か、善か惡かそれは次席に申し上げます。

院長 醫學士 森定吉
内科 小兒科 芙蓉醫院
京城本町二丁目 瓦斯會社向側 電話二六二三番

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進販賣 鳥毛類高價買入れ
萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目 樽元商行 電話長二〇六五番 振替京城三四九九番

産婆 川村ノリ
京城本町四ノ一三一 電話二三六三番

雛人形大賣出し
京城明治町 電一六四〇 振替三〇六
玩具卸商 吉岡商店

三月一日 九紫
舊二月八日壬寅
本命九紫南除北負

▲九紫● 苦なる議論多き日新事見合す方は吉 暗劍南▲一白● 厄介な持込來る事有る日 新事手控ゆ可は吉保證、連帶等は禁ず▲二黑● 森然たる日轉居開業入學合併名弘金談取引紙試驗を受る吉▲三碧● [illegible]▲四綠● [illegible]▲五黃● [illegible]▲六白● [illegible]▲七赤● [illegible]▲八白● [illegible]

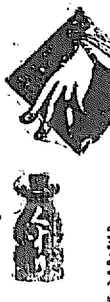
山縣五十雄 村上雅吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

りん病 急性慢性を問はず博士發見の最新藥配合の淋病をお用ひあれば全治速なり七日分一圓十四日分一圓九十錢 本藥は他に御賣せず直接本舖に御注文あれ
京城黃金町三丁目 [illegible]店

鷺村成嶋淑士編著
朝鮮名勝詩選
四六版最美本 六百三十頁 定價金壹圓卅錢 郵稅金拾錢
鷺村成嶋氏は詩人にして又劍客なり併合前未だ韓國政府時代に夙くも渡韓警察官となり劇務に鞅掌する傍ら鋭意半島古來の文章を繹ね特に名勝詩賦の蒐輯に志し眼を舊記に曝らし遍く諸家の稿本を渉獵し或は親しく實地を踏査し收むる所實に二千有餘篇に及び名けて朝鮮名勝詩選と云ふ輯集する所新羅以降李朝各代に大家の吟咏に係る金璧玉晉にして優に其時代の文章を代表し餘あるのみならず其地理沿革傳説等に至る迄之を擧げ巨細を悉し不滅の光輝を生ず燈火親む可き季節劈頭の好讀物也
賣捌所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

グラス萬年筆
朝鮮總代理店 (目錄進呈) 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五〇・二七七四 振替京城二三五六
特約店 京城本町二丁目 町田商店

内科 小兒科 入院隨意
京城日出小學校前 多々見醫院 電話九四〇番



純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

帝國製麻株式會社製品
東洋木材防腐株式會社製品
朝鮮特約販賣店 京城府龍山元町二丁目五十七番地 村松武八商店 電話二六番
營業……麻、綿、ズック、ダック類販賣、和洋麻綿毛織物及製作品、鐵道貨車用覆請負、天幕、雨覆製作請負、並にズック製作品一式
種目
特許品(木材防腐劑) クレオソリーム クレオソート 東洋木材防腐株式會社製

特約店 平壤 桑田支店

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四三〇番・五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

小兒齒科 口腔衛生科 齒列矯正科
京城府龍山榮町 龍山齒科醫院 電話五五五番

▼甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲
▼咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲
河合龜太郎氏創製
◎肝油ドロップス

本邦及英米國政府 專賣特許
滋養強壯料 肝油ドロップス
◎肝油ドロップス 肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る滋養強壯料なり
◎複方肝油ドロップス 肝油の含量の半減して、有機鐵、有機燐及び石灰、規那等を含有せしむ

肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用

五歳以下	一回一顆又は二顆	一日二顆乃至四顆
十歳以下	一回二顆又は三顆	一日四顆乃至六顆
十五歳以下	一回三顆又は四顆	一日六顆乃至八顆
大人	一回[illegible]顆又は五顆	一日八顆乃至十五顆

用法 普通菓子の如く食すべし、又は鋏を以て細片に剪り冷水或は微溫湯にて嚥下にするも妨げなし

(現品縮寫圖)

肝油は一般の虛弱者、腺病者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し治療上缺くべからざる滋養劑として、内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき「肝油ドロップス」を創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、攪拌の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆んど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、腸胃の弱き人と雖も、冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり

如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし
一、顏の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が惡くザワ〳〵してゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是といふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の目立て痩せてゐる人
一、手足が冷て寢られぬといふやうな纖弱い人
一、色が蒼くて肉痩せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、頰が痩け、咳嗽や痰の人並より多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、顏や手先きを潤こくし度人
一、産前産後の滋養を計らうとする人

如斯人は滋養料◎復方肝油ドロップスを用ふべし
一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人
一、榮養不良から來れる眼病、例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病(瘰癧)に罹れる小兒
一、發育不全の小兒
一、貧血症になつてゐる人
一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
一、腦神經衰弱、ヒポコンデリー、ヒステリーなどの神經病に惱まされてゐる人
一、陰萎、遺精などの生殖器神經衰弱に罹れる人
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、心臟病に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 Drops in a bottle ...... ¥ 1.20
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 Drops in a bottle ...... ¥ 1.20

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, lime and quina.

▲賣捌=全國到る處の藥舖。洋酒食料品店。化粧品店。小間物店▼

本舖
ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元 ◎ 登錄商標 丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號○ミヤ……振替口座東京七一〇番
營業部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

京城日報

二月廿八日（夕刊と合せて八頁）

定價 本紙一ケ月金五十錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

第三版

下關期米特電（二十七日後場）

[illegible]

△仁川期米

[illegible]

▲後場の手振り

▲㋑能く買ふ ▲㋷日能く買ふ

▲京城高內容

二十七日の四種

[illegible]

帝國主義（京城日報）

近年歐米諸國が母子國の經濟政策を[illegible]を設定し、外國に對して自給自足の規模を擴むることを名けて帝國主義と爲す。帝國主義は往年英國政治家チエムバレンが首唱せるところなれど、彼が首唱せる當時は英國民未だ之を容るゝを肯せずして已みたれども、此度の大戰役に際して英國民衛さに其の自給自足經濟の必要を感知し、此に初めて帝國主義の眞價値を理會す。最近英國政家經濟學者の意見、母子國間に特惠關税制を設けて、交互に産業の發達を圖ることに一致したりと云ふは、洵とに其故あるなり。

由來英國は『レッサー、フェア』主義の本家本元にて、經濟上の眞理は自然作用にあり、自由放任は開明致富の最上策なり、國家の爲すあるは爲さゞるに若かずと云ふは英國民の傳來の信條なり。併ながら固と是れ世界主義なり、一國民が自給自足を圖るの方針と全く相容れず。英國の資本は此世界主義の下に增加し、英國の産業は此自由放任政策の下に其形を成し、其富實天下に冠たりと稱するも、其の經濟は獨立の地歩を占むる能はず、英本國人口四千五百萬其食物の四分の三は之を海外に仰がざるべからず、其製造工業の原料の大部分は、之を本土以外に求めざるべからずと云ふに有り、平時は兎も角も一時國際に事あるときは、其危懼測るべからざるものあり、是れ此度の戰役に依りて、初めて自給自足政策の眞趣味を解し得たる所以也。

英國の海上權力世界第一と稱し、英國民は海軍の優勢を保つためには如何なる負擔をも辭せず、是れ決して浮誇若くは衒榮に耽るにあらず、實に其植民地を維持し其海上交通を保因して、以て本土人民の安全を保つが爲めなり。併ながら此度の戰役に就て之を見るに、海上は英國海軍の獨り之を制するも、海底は則ち然るを得ずして、獨逸潜航艇の出沒常なり、其危險測るべからざるものあり、北海地中海は既に最大危險界となり、大西洋印度洋すら時に恐慌を招くとなきを保せず、且等しく海外といふも、英國植民地は其母國に忠實なるを以て、如何なる犧牲を供するも其母國の爲に謀りて其心力を致すに務むるも、外國若くは外國植民地は然らずして、外國には自ら外國の主義あり、特に事に臨みて制を他國に受くるが如きは、英吉利人民の忍ぶ能はざる所なり。是れ其の帝國主義の皇張に想到せる所以にして今に及びて之を云ふは甚だ遲しと謂はざるべからざるに似たりと雖も、其の遲きは猶ほ可なり、今にして之を求めて其力を致さば、英國の帝國主義は遂に其功を全くするを得むか、而して此事や英國自身の自給自足經濟の成敗に關するのみならず、他の國民との干繋亦甚だ大なるものあり、經世に志あるもの張眼明目して之を視ざるべからず。

東部內蒙古鑛産（三）

△石炭

▽搏羅濟 本鑛は凌源縣に屬し虔源（建昌）の南五十五支里に位す。建昌より三十支里の間は車馬を通ずるも其後は車馬全く不通にして駄馬の通行に於て猶困難を感ず。炭田の東部は石炭岩を以て限られ炭層は中生代に屬する砂岩、礫岩及び頁岩の互層中に介在し一般走向は北十度西にして延長約二支里に達し傾斜南西に四十度を示す。層は五層あるが如く厚さ一二寸より三四尺に達し各層の間隔は二尺乃至十尺なりとす。炭質は漆黑色の有煙炭にして立方割目發達し割目に沿ふて往々硫化鐵の散在することあり。一般に火附き良く長焰を發して燃燒し稍粘結性を帶ぶ。採掘せる石炭は塊粉相半し比較的塊炭を得るに易し。本炭鑛は原産地の東南八十支里有地內にあり、六七十年前の發見に係り土人農事の傍ら採炭に從事せしも三年前より當所の南四十支里卜河套と稱する部落の李浦なる者當地に礦務局を設立して土人に斤先掘りを爲さしむ。即ち一函（四十斤）に對し百七十文（約一錢三厘）を納付せしむ。地主に對する租税は普通煙税一年一畝に就き最上地高粱一斗、最下五升位を納めしむると雖も當所の地租は蒙古人に納めず直接政府即ち凌源縣に納付する者にして一箇年八百兩（銀子千二百元）を六月と十二月の二期に分ちて納むるものとす。實查當時稼行しつゝありしは天興窰と長興窰の二坑にして其他に二坑あるも何れも出炭せず天興窰には二坑あり何れも加背五六、深さ八十尺の斜坑なり。長興窰は一坑にして深さ一千登（三登六寸）の斜坑とす。採掘法は元より土法たる狸掘にして十人數名協力し各十元、二十元を投資して開坑するものにして坑深きに及び出水等の爲採炭困難となるときは別に新坑を穿つ。一年中休業せず其苦力數は五十餘名にて賃銀は排水夫一日銅貨十箇、採炭夫一日銅貨二十箇を給す。但し食事は全部坑主持にして一日三時間位働きて交替す。一日の出炭高は天興窰は二百五十函（一函四十斤）內外、長興窰は僅かに四十五函內外なるを以て兩窰一日平均三百函即ち一萬二千斤にして最多の時には五百函即ち二萬斤の出炭ありと云ふ。炭價は山元に於て一函一吊二百文內外。附近浴落は勿論建昌大城子方面に於て家事用若くは燒鍋用燃料として賞用さる本炭鑛は交通不便の地に在り炭層亦比較的薄層にして有望なる炭鑛と思惟し難きも炭質概して不良ならず且つ建昌市街よりの往復行程僅に一日なれば將來市街の發展に伴ひ工場等の設立さるゝ曉には結局當炭に由ること便利なる可く本炭鑛の將來は蓋し現在よりも發展するものある可し

露國食料問題

露國の政府當局が今尚ほ食料問題に就て惱まされつゝあるは蔽ふ可からざる所にして外電も亦屢々同國の食料品不足を報じつゝあり、殊に莫斯科市の如き其の缺乏最も甚だしと傳へらる露國の食料品問題は近く本月二十七日を以て休會明けとなる可き議會の形勢即ち議會と政府との紛爭問題と共に實に露國內政上の二大難關なりと云ふ可く其の推移如何によりては更に國內の紛擾を來たすべしとまで疑惧せらる。然れども由來露國は印度、米國と共に世界の三大農業國を以て知られ一億五千萬（波蘭を除く）の住民の九割は農業に從事し開戰直前の年產額に徵するも大麥四億六千萬布度、小麥六億一千萬布度、燕麥六億八千萬布度、裸麥十億四千萬布度、馬鈴薯十八億八千萬布度の大數を示し從つて平時獨逸、英國、和蘭其他へ輸出し來りたる穀類の價格は七億五千萬留即ち總輸出額の半に達せる程なり尤も開戰以來の徵集に因りて其の生産上に多少の支障を來たしたる可きは想像に難からざれども一方捕虜、避難民等の使役によりて之れが補充に努めつゝあれば全く此方面に於ける不足を感ずる等のことなきは明瞭なり[illegible]露國に於ける食料問題は露國の如くに於けるが如く食料品其ものゝ不足に存するに非ずして之れが需給分配の方法其の宜しきを得ざるに在りと云ふ可く運輸機關の不備と過不及按配に關する制度の不完全とは本問題の禍根なりと解せらる。而して鐵道の敷設等運輸機關の完備は到底一朝一夕の業に非ざれども尚ほ交通省當局の立案努力によりて漸次完備の域に向ひつゝあり。穀類の分配方法に就ても最近農務省の立案（其實は移務問題當時內相プロトポフの立案せしもの）に基き從來の不備を匡救す可く既に內閣會議を通過して之が實施を見る許りとなれり即ち一昨年の改正案によれば穀類分配の權限は舉げて各州知事に委任せられ中央政府は單に各州に對し他州への穀類輸出を禁じたるのみにて各州間の過不及按配に就き何等考慮を施す所なかりし爲め或る州は過剩穀類を死藏しつゝあるにも拘らず或州は其の不足甚だしきを訴ふる等の不始末を演じたるが今回實施せらる可き案は各州の穀類按配に關する權限を農務省の手に統一し各州に輸出する穀高と其州に於て消費さる可き穀高とを比較對照して其々各州の過不及を算定し過剩の州よりは一定の標準價格を設けて強制的に徵收し不足の州への提供を強制的に按配するに在るが如し實際の運用は固より今後の事情に徵するの外なけれども穀類に不足せず之れが按配に關する制度亦改善せられたる以上本問題も遠からず解決を見たるものと稱すべし

支那に於ける獨逸の利權

獨逸は支那に對し姑く青島を除き借款、鐵道等莫大の利權を有し此等は獨支國交斷絶と與に支那より一掃さる可き者なるが今借款を除きたる鐵道以下の各利權を概擧すれば

▲鐵道 津浦鐵道北段三九五哩△津浦袞濟支線一九哩△高韓線一九二哩（未設）△濟順線一二〇哩（同）△開袞線一八四哩（同）△濱色線六三〇哩（未定）

▲鑛山 山西省井陘炭鑛△同省平定州炭鑛△湖北省鷄冠山炭鑛△內蒙古省若石榴鑛△直隸省臨城新西門子公司△大冶西門子公司△此他獨人關係の者湖北に二十四、此投資額六百六十萬元、又湖北に五、廣東に一あり

▲內河航行權 長江、上海、漢口間に汽船會社二、汽船四隻あり

▲通信機關 無線電信は上海に一處又北京、張家口、吳淞、廣東、熱河、漢口、福州、油頭八處に技師及び材料供給の權あり△郵便局は北京、天津、濟南、山海關、李村島、芝罘、青島、濟南、福州、厦門、油頭、廣東の各處

▲應聘人員 將校五名△普通文官技師八十名△税關吏二百二名（鹽國税關吏は十一名）

▲銀行及商店 德華銀行△禮和洋行△捷成洋行△瑞記洋行

▲電氣事業 支那に於ける電氣機械の供給は獨國を第一とし武昌、漢口間に電燈事業を經營す

▲財産兵力 天津北京二處にて百五十九人あり

覊窓漫筆（その六）

二月十日上海にて 大谷光瑞

△味

然れども乳を用ふるに至りては、印度は世界に冠たり。曰く乳、曰く酪、曰く酥、曰く熟酥、曰く醍醐の五を出せり。古梵經を譯するに當り、支那文字を以て之に當つるに、甚だしく困難せるが如し、今の學者『サルピルマンダ』の語を以て醍醐の原字なりとなせり。頃日我邦に於ても、蒙古人より傳へる乳の製品を以て『サルピルマンダ』となせり。其味美なれども果して異なるや否を知らず。我不幸にして未だ印度に於て『サルピルマンダ』を嘗みず、他日彼地に遊ぶの時は、採査して是を試みんとす。印度人は乳味を以て最上の味となせり、歐洲人、西アジア人、中アジア人、北アジア人皆然り、唯支那人は甚しく之を貴ばず。我邦人は古より之を知らず。豆腐の如きは、我邦に於ては最も普通のものなりと雖も、之を大豆より製造するに到りては、實に淮南王劉安の發明に感服せざるを得ず。理學的變化と、化學的變化を食物の上に起せるに至りては驚嘆に値せり。況んや其滋味に於てをや。古人實に賢なりと云ふべし。植物中、葉、幹、莖、根、果等は概ね食すべく、花卉亦食用とす。菊の如きは最も可なり。我邦青森縣八戸最も名あり、支那亦是を食す。屈平の楚辭に『夕餐秋菊之落英』の句あり、今日猶菊花鍋と名くあり。菊花を投じて他の肉菜と雜食す。歐洲産の『コーリフラワ』の名は人の普く知る所なり。丁子の如きは其花蕾を食せず。然れども是れ味にあらず、香なり。夫れ人の性たるや、大同すと雖も小異あり。北人は肉を喜び、南人は蔬を好む。我曾て印度に遊ぶや、殆んど肉を欲せず。若し夫れ化學的成分を以てせば、肉たると蔬たると別なし、其熱量を以てせば、少量にして多熱なるあり、多量にして少熱なるあり、一樣ならず。嗜味の用は人の意志にありて、學術にあらず、學術は食品に於て[illegible]、饕餮の人は、露の醍醐と[illegible]するの人は、大悟徹底するにあらずんば能はず。夫れ人の嗜好は實に其標を測るべからず。南史によるに『劉邕性嗜食瘡痂、以爲味似鰒魚』と、痼癖味ありと云はゞ、萬物豈味なからんや。記して以て異味を喜ぶ人に告ぐ。若し不老長命の術を問はゞ、唯身體を勞し、而も滋味に飽く事を止めよ。是れ延命の秘方なりとす。（完）

日報詩壇

○寄[illegible] 小永井槐陰
[illegible]
評曰 氣卅、雜卅

○丁巳新年三首 村上石城
[illegible]
評曰 即興有趣

○夢富嶽 高井椿堂
[illegible]
評曰 閒入閒境可奕

○讀李太白集 西田白陰
[illegible]
評曰 恍如聞羽衣一曲

○新年口號 近狂生
[illegible]
評曰 瑞氣氤氳

日報歌壇

名もあらぬ此の草に花咲く春を神は惠みたまひぬ 中島善八

駿かき日は來にけりわれ男の手力みなぎり春はきにけり

世の中の男は總て惡魔ぞと教へられたり僞りならじ 佐々木柚寸

赤襟の女等に交りて藝術研究すと云ふ悲しき男

守れ永久に少女てふその誇りを純なる君の若き心を 櫻井絲路

君も死にまさば斯くあるか羅漢寺の怖きみ佛の顔

獸想の快よきあり耽溺の後の悔ありすべて宜しき 森川晩鐘生

一切石外四種
右購買ス詳細ハ二月二十八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

父死去の訃に接し
趨御暇乞の遑なく今朝遽に歸東仕候在鮮十餘年間非常なる御厚誼に預り公私共多大の御同情と御援助を賜はり候芳情實に難有深く奉感謝候處に御座候茲に不取敢紙上を以て辱知諸君に御禮申上候
大正六年二月二十八日
村上龍佶

早稻田大學學生募集

部	科	修業年限
大學部 高等豫科	政治經濟學科	大學部本科三ケ年
	法學科（獨法、英法）	高等豫科二ケ年
	文學科（哲學、英文學、史學及社會學）	
	商科	
	理工科（機械、電氣、採鑛、冶金、建築、應用化學）	
高等師範部	國語漢文科	本科三ケ年
	英語科	豫科一ケ年

●豫科學年延長 [illegible]

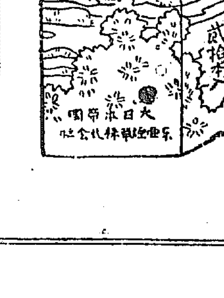
○高等豫科各科第一學年 中等程度諸學校卒業生は四月中無試驗其他は三月十五日（木）午前八時入學試驗。●高等豫科理工科は前記學校本年及び昨年度優良卒業生に限り[illegible]四月十三日（金）迄無試驗其他は四月一日（日）午前八時選拔試驗。

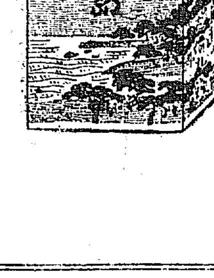
○高等師範部豫科第一學期 中學、師範學校等卒業生は四月中無試驗。其他は三月十五日（木）午前八時入學試驗。

願書は凡て試驗前日限り。尚ほ詳細は各科事務所に照會のこと、●規則書は郵券三錢封入請求のこと

大正六年版 縮刷
債權者の活顧問
縮刷版—は日常懷中に忍ばせて事に應じ變に際し迅速正確に事件を解決せしめんとて生れたり
大審院部長 馬場愿治先生閲
法學士辯護士 筒井恪堂先生著（大增補冊版）
（大判假綴函入美本定價壹圓卅錢）
縮刷クロース綴函入美本ポケット形定價壹圓 持價八十五錢（送料六錢）
激賞—全國の新聞雜誌曰く債權者が知得すべき一切の事柄を網羅しあれば敏腕なる辯護士を雇ひ置く如く如何なる難問題も立處に圓滿に解決せしむ、と
發兌 東京日本橋 大阪北濱 大阪屋號

代表的煙草よ
汝の名は……人も知る
品質本位の





東亞煙草株式會社

英國食糧品輸入制限

英國政府の果斷なる輸入制限及び其他の經濟政策は何等批難を受くる事なく承認せられたり食糧品の輸入は九十萬噸に制減せられ又不必要品の輸入も禁止せられたるが其中には竹製籠、絹製品、莫蘆彫刻物等を含み居れり（倫敦電報）

擊沈英汽船乘客消息

クキンスタウン來電＝既報の如く去る十八日紐育を出港したる英國汽船ラコニア號（一八、〇九九噸）は獨艇の爲め擊沈せられたるが船客中米國人十二名あり尙生存者は二百七十名クキンスタウンに上陸すべし同船はキユナート汽船會社所有の商船にして英國リバープールに船籍を有するものなり（紐育電報）

英軍勝に乘じて追擊

倫敦來電＝ボナー、ロー氏は下院に於て發表して曰くチグリス河戰線に於けるサンナイヤとヨリクトエルアラマに到る土軍陣地は悉く英軍の占領する所となり土軍は英國騎兵の追擊を受けつゝバガイラ方面に退却中なり（紐育電報）

定例閣議内容

二十七日定例閣議は午前十時より首相官邸に於て開會寺内首相以下各大臣出席後藤内相加藤海相病氣缺席先づ本野外相より最近に於ける外交經過に關する報告あり其れより選擧取締方針に就て凝議し水野次官より地方の狀勢に就ての報告あり正午午餐を共にし終つて左の件を凝議決定して散會せり（東京特電）

一、司法省人事一件
一、舊藩負債假還處分に關する請願
一、簡易生命保險事業費豫算超過に對する豫備金支出

文武官定期敍勳

二十七日宮中に於て文武官四百八十二名に對し定期敍勳の御沙汰ありたり中重なる者左の如し（東京特電）

敍勳三等功四級　海軍少將正五位　岡野富士松
敍勳二等授瑞寶章　式部官海軍中佐從五位勳四等　木村甚三郎
陸軍技師從五位勳四等　吉澤幸次
行政裁判所評定官從四位勳四等　淸水澄
外務省通商局長正五位勳四等　中村巍
敍勳三等授瑞寶章（各通）

漢江々畔の造林地
防風護岸飛砂防止の模範造林

漢江の河岸京元線西氷庫驛の對岸なる蠶室里には幅五町長さ一里餘に亙る砂原あり、每歲夏時は炎熱砂を灼いて飛砂耕地を襲ひ、冬季は寒風礫を捲いて行人を惱すこと甚しかりしより總督府は大正二年三月之れに對して防風、護岸並に飛砂防止の目的を以て造林を施行せるが其の成績比年顯著にして今日に在りては優に如上の目的を達し昨夏六月洪水時の如きは附近の舟筏何れも難を樹林中に避けて全きを得たり、洵に模範的造林と謂ふ可く直に狀況を略述して朝鮮に於ける河岸造林造成上の參考たらしむることゝなせり

▲林況　東西に長き砂原にして幅約十二間長さ約十五町、北は砂原に南は桑園耕地に接し地勢一帶に平坦なり、而して南側桑園中には桑、ドロヤナギ、シロシダレ等の大木點々散在し砂原の所には乾地園原性の沙草類を生じ洪水の際は遊水地となりて數日間浸水することあり、地質は細砂泥土を主とせる沖積土より成り

▲苗木及植栽　ニセアカシヤ及び白楊類三種につきて健全なる一年生苗を用ゐ大部分は幹を切り詰め大正二年三月下旬に植栽を了せり、植栽方式は三尺正三角、四尺正三角、四尺正方形、三尺六尺の短形等の方法に依れり

▲人爲の被害　本造林地に接する勸業模範場所屬桑園の監視人は常に本造林地の巡視に任じたるも多少の盜伐は免るゝこと能はず植栽以來今日迄の被害本數約七千六百本に達せり

▲害蟲及病菌　植栽當年テウセンドロノキ、モニリフエラヤマナラシにヤナギノハムシ及びピロウドコガネ發生し其の驅除數量一石餘に達せり、又ホツカイドウドロヤナギ、ピラミツドヤマナラシには病菌の爲め幼芽黑色に變じ萎縮したるものありしも翌春以後は著しき被害を認めず

▲水害の狀況　漢江は梅雨の候約四年每に大出水あるを例とす而して本造林地は一帶に浸水し其の深さ最大七八尺にして浸水時間約四十時間に及び林緣又は水流の衝に當れる箇所は幹を傾伏せしものありしが其の爲め枯死せしものなし

▲生育の狀況　ピラミツドヤマナラシは面積一町四反五畝餘に一萬千四百本を植ゑしが植栽後四年目の秋に於ける現存數は八千八百十一本にして樹長一丈九尺二寸胸高直徑一寸四分を示し、モニリフエラヤマナラシは八反八畝餘に七千本を植ゑ四年後の現存數五千五百二十八本にして樹長一丈九尺八寸、直徑一寸三分となり、テフセンドロノキは三反餘に二千四百八十本を植ゑ現存五百五十本にして樹長八尺一寸直徑四分九厘となり、又ホツカイドウドロノキは一反餘に八百本を植ゑ現在三百七十六本を存し樹長一丈八尺五寸直徑一寸五分に及びニセアカシヤは九反八畝餘に七千八十四本を植ゑて四千六百八十一本を存し樹長二丈三寸直徑一寸六分となれり

▲結論　前記の成績は年一二回水深十數尺浸水する河岸に於て容易に造林の成功を證するものにして本造林地に於ける成績に依れば

（イ）白楊類は植栽當年は二日內外浸水するも殆ど被害なく植栽の翌年又は二三年後に於ては三四日間浸水するも其の被害甚だ少しニセアカシヤに在ては植栽當年に於て二日內外の浸水に依り大部分枯死し殊に根元の堆積土は著しく生育を害するものゝ如し

（ロ）植栽に際しては成る可く幹を一丈內外に切り詰むるときは植栽に便なるのみならず風害に對して強し

（ハ）現在に於てはニセアカシヤ最も生育良好にしてモニリフエラヤマナラシ、ピラミツドヤマナラシ、ホツカイドウドロノキ之に次ぎテウセンドロノキ最も不良なるもニセアカシヤの生育は最も旺盛なるも此後五六年後にモニリフエラヤマナラシ、ピラミツドヤマナラシは七八年後には上長生育を停止す可くテフセンドロノキは三四年後よりは著しく生長量を增加し而かも數十年間に亙りて持續す可きを以て二十年後の本造林地は全く其の林相を一變しテフセンドロノキは本江畔に於ける主要林たるに至る可し

總督菓子料下附

長谷川總督は二十七日總督府醫院巡視、同院施療診察所に到り詳細視察の上施療患者に菓子料を下附したり

カラマツ養苗

大正五年中各道官營苗圃に於けるカラマツ、テウセンカラマツの養苗狀況を見るに

▲播種季節　は四月上旬より五月上旬に涉り
▲發芽狀況　は槪して良好にして
▲坪當生產苗數　はテウセンカラマツにありては忠北の二千六百四十本最も多く黃海、平南、咸南、京畿の各道之に次ぎ平北の七百七十本最少なり內地產カラマツは平北の二千八百本最も多く江原忠南咸南の各道之に次ぎ京畿の三百六十本最も少し而して坪當生產本數の多寡は主として根切虫の被害多少に因るものなり

▲苗木の幹長生育　は內地產カラマツにありては咸南最も良好にして江原忠南京畿之に次ぎ平北最も劣れりテウセンカラマツにありては咸南最も良好に咸北江原平北黃北之に次ぎ京畿最も劣れり

▲覆土　は一分五厘乃至三分にして床被物は一般に藁等を用ひ坪二百五十匁乃至四百匁を施し一本又は二本並にして發芽揃後之を除去するを常とし其後床面に糲殼を撒布せる箇所もあり

▲日覆　は咸北江原の外何れも之を用ゐ製作材料は葭簀にして中には粟稈を用ゐたる箇所もあり、發芽後床被物を除去すると同時に之を設け八月下旬乃至九月中旬に至り撤廢し通常晴天の日日中に限り施用し中には日出後一二時間より日沒後一二時間迄施し漸次時日の經過と共に其日覆時間を短縮せるもあり

▲施肥　は各道共基肥、追肥を施し其種類は油粕、人糞尿、木灰、堆肥、過燐酸石灰、米糠、大豆粕等なり

而して今回の成績に依ればテウセンカラマツ一年生苗の幹長は平均三寸乃至四寸にして大正元年に於ける本樹種一年生苗の幹長平均五分乃至一寸に比すれば著しき差異と云ふ可く之に依り木樹の養苗法が逐年進步の域にあるを推知し得可し

市況稍活氣付く

一月以來の京城市況は商狀閑散金融[illegible]銀行當業者は新規の貸出し少なく殆んど回收のみに傾き居りしが最近に至り市中各銀行に於ける資金の需要若干起り來る傾向ありこれ春物夏物の入荷ボツ／＼起り來れる爲めと米豆取引の幾干か活氣を呈し來れるに非ずやと云ふ

滿鐵哈爾賓公所　南滿洲

鐵道株式會社に於ては二月廿八日より哈爾賓に南滿洲鐵道株式會社哈爾賓公所を設置し東淸鐵道との交涉事務及び貨物の代辦事務を取扱ふ由なるが右は從來同地日滿商會に委囑し來りたるものを會社直扱に變更したる爲めなりと

渤海灣航路危險

[illegible]港局に於て碎氷船を用ひ白河の結氷を破碎せるにより二十二日より同河は航海に危險を感ぜざるに至れるも渤海灣は流氷尙甚しく航海危險なるにより航海業者は注意を要すと

渤海解氷と運賃

冬期結氷中にて航海不能なりし天津太沽方面行貨物運賃率は汽船の航行を見ざりしにより其の儘に据ゑ置かれたるが解氷に伴ひ航路再開につれ値上問題生じ荷主側と交涉中なりしが今や傭船料暴騰し各航路とも著しき値上をなし居る際なるを以て問題も圓滿に解決し郵船商船の初航は從來の儘とし次航より社外船は初航より各二割乃至三割の見當を以て値上をなす事となれりと

保管倉庫と鐵道

[illegible]驛に於ける聯帶貨物停滯の際貿易商は滯貨金融の利便を招くの一策として營山其他各驛の振合にて保管倉庫建設の件に付き驛長まで內請する處ありしが其後驛長は會議の爲め出京の序を以て本局に上申したるに鐵道局は民業壓迫の非難を回避するが爲め民業の或程度迄發展したる地方には斷じて保管倉庫事業を經營せざるの方針なれば將來とても永遠に之れの鐵道倉庫事業を經營する事なかるべく但し鎭南浦の倉庫は或特別の事情に出て居るものなれば近は始らく例外として見ざるべからずと語れりとの事なれば今後平壤の倉庫事業は是非民業に俟たざるべからざるならん（平壤）

英獨の海上戰にて戰爭終局
長瀨鳳輔氏談

歐洲戰爭の終局に就ては二種の觀測あり其一は獨逸が糧食愈缺乏して此上久しきを支ふる能はず敗滅の運命を見べしとなすものにして他の一は獨逸の內情決して世間に傳ふる程には糧食に窮迫せず渠は近來陸戰を以てするも容易に終局を見る能はざるを以て潛航艇の威力を以て

▲戰爭を成るべく早く切上げんとしつゝありと云ふもの是れなり而して我輩の觀測は寧ろ後者を採る最近の外電は近き將來に於て獨逸の陸軍は聯合軍に向つて目覺ましき攻擊を加ふるならんと傳ふれど獨逸の陸軍は果して新方面に活動すべきや否や疑はし渠は既に羅馬尼を陷れ希臘も亦其掌中に在り例令聯合軍がサロニカに四十萬の兵力を有するとも巴爾幹の大勢を挽回すべきものにあらざるべければ獨逸が此の上焦りて陸兵を動かすの必要はなからん陸戰は略ぼ一段落を告げたるものと言ふべし即ち獨逸は陸上に優勢を占め又國內の糧食も未だ全く缺乏を告ぐるにあらずとせば何が故に

▲中立國に向つて　乘鉢的態度を採り同情を世界に失ふべき潛航艇戰を敢てするやと云ふに獨逸は速に講和せざれば其商權を世界各方面より驅逐せらるゝの虞あるを以て渠はこの優勢にして得意の時期に講和せんと欲するも英國は講和を欲せず寧ろ持久戰を希望して之を容さず蓋し英國は佛蘭西露西亞と異り毫も領土地內に損害を受くることなく却て戰爭の爲に南洋にある獨逸の殖民地を奪取し更に埃及サイプラス等の北亞メソポタミヤの南部に威力を振ひ今日急速に講和せんか新に收めたる利權を棄てざるべからざるの不利あるが爲なり一方佛蘭西露西亞の如きは恐らく

▲急速講和を希望　せんも英國との協調を破らざらんが爲めに之を抑制せるものと思はる即ち獨逸は潛航艇戰宣言に依りて中立國をも威し以て講和を促進せんと圖れるものならんも米國の激怒に依り事志と反せり此に於てか今後獨逸は彼の本年一月より二月十一日までに英國商船六十隻を沈沒せしめたる潛航艇の活動を一層猛烈ならしめ英國と海上に戰ふの作戰に出でたる如し此海上の英獨戰を以て戰局を終るものと見るべく此五六箇月の後に至れば大勢定まらん若し其れ米獨の國交斷絶は只斷絶したるのみにて實戰を開始するが如きことなかるべく大戰其ものゝ上には殆ど沒交涉なるべし（東京）

江華水道と交通

京畿道江華水道沿岸の流水は漸時減少し各渡船場に於ける渡船も辛うじて開通を見仁川と管內甲串との間に於ては汽船發動汽船の航通を開始し稍便利となりたるも未だ復舊の狀態に至らず

京畿粒選大豆成績

京畿道にては大豆生產改良の目的を以て先年來各府郡に對し播種用大豆粒選の日割を設け府郡內一定の場所に其種子を持ち寄らしめ技術者又は郡面職員之を檢査し不合格の者には再檢查を命ずる等極力之が奬勵に努めつゝあるが其効果は頗る顯著なるものありと云ふ即ち收穫に於ては各郡共一般に著しく增加し粒選大豆は反當り六斗七升一合に對し[illegible]の收穫を得又品質に於ては雜種の混淆少く粒揃よく品質優良にして價格の點に於ては一石に付約五十錢高を以て取引せられ成績頗る良好なりと云ふ而して大正五年に於ける管內各郡粒選總高は一萬三千四百七十六石にして之が作付反別二萬四千二百八十九町七反收穫高十八萬七千三百九十石に達したるが前年に比し粒選高に於て四百八十五石反別に三千百四十八町六反收穫高に於て三萬八千三百六十七石の增加を示せり

京中入學志願者

京城中學校にては來る三月四日入學志願者一同を同校に招致し試驗心得を指示し五六七の三日間試驗を施行し九日發表の筈なるが志望者は二十七日午前中既に四百八十九名に達し締切期日たる二十八日迄には五百名を超過する見込なりと云ふ而して右志願者は西大門小學校の二百四十名外京城府內各小學校を合して約四百名にして其他は地方よりの志願者なるが入學試驗施行の結果入學を許可さるべき者は百五十名の豫定なりと

韓相龍氏支那視察

漢城銀行專務取締役韓相龍氏は豫て支那視察旅行を企畫中なるが愈々三月一日午前八時廿分南大門驛發滿鮮急行列車にて滿洲に赴むき同地方一巡の後天津、北京、漢口、上海、靑島等を視察し行程約四旬にて歸京の筈なり尙氏は漢城銀行員韓翼敎氏を同伴する由

京畿道管內自動車事故

大正五年中に於ける京畿道警務部調査に係る京畿道管內に於ける自動車事故數は自家用及營業用自動車總數二十二輛ありて斷崖より轉落せしもの一件自轉車に衝突せしもの一件人に衝突せしもの十件にして今之れが運轉手別に見る時は內地人六人朝鮮人四人同補助員一人外國人二人計十二人なりと

人事消息

▲淺井[illegible]三氏（小野田セメント會社長）▲朝枝[illegible]太郎氏（同社員）　廿七日夜入京朝鮮ホテルへ
▲多田榮吉氏（新義州木材會社員）　二十七日夜退京
▲岡本常次郎氏（北鮮日報社長）　二十八日朝退京の豫定

南言北語

暗時間の問題だなんて早やも火蓋を切り相であつた獨米開戰も何時の間にやらウニヤウニヤに爲て頓と沙汰消ね▲と云ふのも獨逸の潛航艇宣言が日程でなく米國の貨物船は自由に大西洋を橫斷するし▲英佛船の外多くは擊ち沈めても左程手應のなかりし私な中立國の汽船を狙ふのみで積極的の擊沈方針も斯う懸引が見え透いて來てはそれ案のでうだろうと米國では笑つて居るからだろう▲其れとも世界平和の爲とあらば一と肌脫いで被害中立國の爲に大に氣を吐かねばなるまいと▲支那でも獨逸と國交を斷絶するとか何とか大分騷いで居るが烏渡ラチがあき相にもない▲獨逸は支那の觀戰武官に勳章を授けたり駐獨支那公使に贈品したりして「獨逸好意あり」なども打電さして居るから▲支那の方で自由に意志の發表をやらねば獨逸は知らぬ顏して何處迄も居るのだろう▲其れに就けても可愛相なのは駐支獨逸公使のヒンツエである▲公使以下館員一同には本國から只一錢も金が來ないので其日／＼の生活にさへ困つて居る相な▲其れでなくとも一朝國交斷絶せば歸るの途なき連中眞個に之れぢやおもしがない▲現など洒落て居る處ではあるまい▲現にヒンツエの秘書官の如きは烏渡した緣故を辿つて某名士の處へ何日か無心を云つて來るとの事▲若し獨支國交斷絶せば歸るに途なし寧ろ捕虜に如かずと吐息して居る處は敵ながら氣の毒千萬

本溪湖の近狀

本溪湖は近來著しく發達し安奉線中[illegible]の中國新員の家族實に一千名を數へ勞働者七百名に達し多少の滿鐵社員も含まれ居るも二千の人口大槪は煤[illegible]▲故に數年後に於ける本溪湖は現今の倍額位の人口を呼ぶ盛況に達すべしと想像せらる即ち煤鐵公司の事業は[illegible]鎔かすべき燃質を含有せる石炭の產出する事、第三は交通の利にして鐵道と太子河の水運によりて之れが運[illegible]ース釜旋成ると共に副產物の製出もあるべく一方鞍山站鐵鑛の開始に連れ石炭の供給の協定もあれば現在の[illegible]新事業ある上炭鑛派として僅二三大鑛區ありて此前四五十年にては到底採炭し盡くせざるの所謂無盡炭鑛に[illegible]し本溪湖の發展に資せんとするものなり唯だ此工事には隧道橋梁等の幾多難工事を控ゆる爲め著手容易ならず目下中止[illegible]

▲共謀して强盜　元山上里洞李永根（三）文德化（〇）金元彥（三）は共謀し昨年十[illegible]たる物品を金允伯（三）祖長鉉（三）の兩名に擲かせたる事露顯し此程咸興地方法院にて永根は十二年、德化[illegible]

生徒募集廣告

本年四月左記各科第一學年ニ入學セシムヘキ生徒ヲ募集ス
本校　染織科、應用化學科、窯業科　各科ヲ通シ內地人朝鮮人ヲ合シ約四十五名
土木科、建築科、鑛山科　各科ヲ通シ內地人朝鮮人ヲ合シ約[illegible]名
附屬工業傳習所　金工科、木工科、化學製品科、陶器科、織物科　各科ヲ通シ朝鮮人約百名
詳細ハ二月十日以後ノ官報又ハ直接本校教務係ニ就キ承合スヘシ
大正六年二月八日
京城工業專門學校

白色ポルトランドセメント

小野田セメント

白色セメント　は鐵筋混凝土建築と應用加工品製作には普通セメントの外に特に純白にして普通セメントと異ならざる性質を有する白色セメントを要求する時代となりました
白色セメント　は我國にては是れまで製造する者なく殆ど外國より輸入せし高價なるもの耐久力强度薄弱なる消石灰及石灰、石粉末乃至大理石粉末等を代用して居ましたのは甚だ遺憾の次第でありました
白色セメント　は小野田セメント會社が他社に率先して製造をなし一部は同社の加工品に一部は美術建築業者並に裝飾的加工品製作業者の爲め新設備を施し研究の末今や最優良の白色セメントとして市場に歡迎せられつゝあります

並に小野田普通セメント卸小賣（量賣）等最も低廉に販賣可仕候間何卒御用命の程願上候
京城本町二丁目（電話三七〇番）
特約店　材木商　山本村太郎

ペン商業書式習字帖
商學士吉成象外先生著（最新刊）　菊判金三十錢　二度刷●送料四錢
本書は著者が多年實際に應用し來れる新式帳簿の記載方諸表の作成方及其書式を淸楚なるペン字にて記帳はかやうに諸表は此如くと懇切に說明しつゝ習字せしむ實務界渴望の理想的商業書式習字兼用手本也

（再版）吉成象外先生著　模範ペン習字手本　定價廿五錢　送料四錢　誰にも習ひ易く覺へよき手本也

京城本町　大阪屋號書店　振替京城二五三七

（六版）蜂谷柳莊・太田三郎　新譯碧巖錄
堀內新泉先生著（忽五版）　四六判・金一圓廿錢　布裝美本・送料四錢
世の所謂坊主讀を避け味噌臭きを厭ひ寧ろ俗解を施す新譯の名を冠する所以、碧巖の幽玄深遠なる興趣を知るに足る、新思想界の殺人刀活人劍、明窓淨几是を繙き活禪機を見よ。
ポケット形　總布天金函入　定價（金一圓卅錢）送料八錢　特價金壹圓（部數限定）

當世百道樂
著者獨特の奇警の觀察、現代の道樂者の裏面を剔抉し、或は大に笑ひ大に罵り、大に自省の大文字、近頃稀有の現代諷刺の快著也
（內容大略）[illegible]

（同店）東京・釜山・大連・旅順・鐵嶺

資本金壹百萬圓
不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
京城　株式會社　漢湖農工銀行　支配人　遠山熙
支店　開城、春川、公州、淸州、忠州、江景、大田、論山、鐵原、鳥致院
所在地普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

一人一藝

◇謠曲「猩々」の急行　十八年になる安住辯護士の謠

回若い盛りの元氣に任せて本物にばかり噛りついてゐの謠のやうに書たる安住さんが帝大を出る頃には大分身體を壞したがなり裁判官になつて東京を振出しに福岡、名古屋と歷任する內にも一度附け入つた病魔が執拗く附き纏ふやうになつた

回明治三十三年と言へば今から十八年の昔、名古屋の裁判所に檢事をしてゐる時、痼疾の肋膜にかゝつた醫者が謠曲好きもいゝが謠を遣れば自然に治るといふやうなわけで始める氣になつた

回此の話を聞いて「乃公なら東京の玄人の謠を二十番だけは正式に習つてゐるから教へて進らう」と乘り出して來たのが同じ大學出でその當時第三師團の法官部の理事で現に第一師團の法官部長をしてゐる松本慶次郎氏だ

回その頃名古屋に同じ觀世で年輩は八十近いがその道では古老と立てられてゐる松浦羽洲といふ師匠があつた、或る日同好の藤堂といふ檢事長の宅で會があつて松本氏の門下と羽洲老人が招かれた素謠數番宜しくあつて

回終りの祝言に羽洲老人以下一同で「猩々」を謠ふ事になり羽洲老がじかにしらで一同聲を揃へて謠ひ出したが松本門下の若い連中は元氣な聲を張り上げ〳〵結びの「つきせぬ宿こそめでたけれ」まで謠つて

回ホツとして宇頭の方を見るとまだ中頃を謠つてる、ハヽア少し早過ぎたわいと元に戾つて謠ひ出し例のめでたけれと切ると老人まだ謠つてるのでオヤ〳〵と更に後戾りして三度目で漸う謠ひ納めたのは太鼓地といふのを知らずに急行で進んだ若手連の不心得だつた

回無論此の中の一人だつたその後安住さんも師匠に就いてみつしりと稽古したためにどうにか聽けるやうになつたが朝鮮に來てからは好い師匠が無いので謠の方はやらず謠の餘興である仕舞、太鼓、大鼓、小鼓等を習つたさうだ

回安住さんは「朝鮮へ來てから謠が大變亂だ」と言つて昨今餘りやらないが、玄人仲間に評判のいゝ事は、昨年過りから始めた義太夫の比では無いさうである、「しかし安住さんは『君謠十年といつてね、謠も十年やらなければ聽かれないよ

回凡そ謠程人に迷惑をかけるものはない、謠は貴族的で義太夫は平民的だ、私も役人をやめてから義太夫に宗旨替をしたが此の方がいゝ、京城には謠を聽く耳を持つた人が少いからね」と言つた

◉もつと家の中を暖くしたい　零下廿度の寒氣にも花を咲かせるやうに

春とは未だ名のみにて、京城測候所の觀測によれば、正午に於てすら、未だ冰點下を示し夜間は冰點下十二三度の處を昇降してゐる事は毎日夕刊にて報じてある通りで、昨年十二月下旬――

◆河川の結氷以來 未だに解氷に至らぬのである。此の冬の寒氣は實に朝鮮にも稀であるさうだ。特に內地人の住宅は、夏に重きを置き、寒氣に對する設備はあまり考へてゐないのであるから一層甚だしく感ぜられる。「此の家は暑さうだ」とか「此の室は風通しが宜い」とか言ふことはよく聞くが「此の家は寒さうだ」と云ふ言葉はあまり

◆內地では聞かない 朝鮮家屋は、其の構造は誠におそまつに出來て居中の衞生上見地よりはあまり感心はしないが、防寒と云ふ方面には充分行き屆いてゐる

回障子の紙 の張り方によりても察する事が出來る、我內地風の涼み臺式の家屋とは比較にならない、屋外は零下二十度と云ふに、室內には入れば

回實に暖い ものである、先日ある旅行者から、面白い話しを聞いた。曰く、京城に於ける、某第一流の旅館に投じたら寒くて〳〵たまらなくなつて、十二時頃から街に出て、歩き廻つたら、やつと暖まつたなんて、笑談を言つてゐた。まさかに、そんなにもあるまいけれど、朝鮮に於ける旅館否

◆旅館にかぎらず 一般內地人の住宅は寒い樣に出來てゐる。此の頃では、隨分溫突家を崇拜する人がまして來た樣だ。俗俚に『鄕に入つては鄕に從へ』と云ふ樣に寒い處に來たら、其の寒い氣候に從つて、適當の防寒方法を講じないと此の冬の樣な、ひどい目に會ふのは當然だ。滿洲に於ては

◆寒氣も一層烈し いだけに、防寒の方法については充分の注意が行き屆いてゐる樣である先日滿洲本溪湖に行つた知人がよこした葉書に『外氣は未だ零下二十度に候へども室內にはゼラニユーム咲き亂れ居り候』とある實に

回羨ましい 事である。先頃の極寒期には、奧樣連が頭をしぼつて疊裏に新聞紙を敷くとか、天井板に目張りをするとか、襖柱の隙間には紙をつめるとか云ふ風にして

回兎に角に 冷氣の侵入を襲分か防ぎ得た實驗談が貴紙に記載してあつたが、之れとて、零下二十度等の寒氣に遭遇してはとてもだめである。せめて此の後に新築でもする家には充分防寒の點に注意して、後悔せぬ樣に致し度きものである。自分は、多少

◆防寒設備に關し ては黑いつもりで少しお話し致すが萬一御參考になつたら誠に幸ひである。先づ防寒の方法を次の二つに別つ事が出來る則ち消極的方法、積極的方法であるが、その消極的方法としては前に奧樣連の防寒方法の樣な事で、冷氣の侵入を防ぎ、暖氣の逃出を防ぎ家の位置、方向等を

◆充分に研究して 日光のよく入る樣にする事等にて、主に建築者の設計に賴る事である。それから積極的方法は之れ採暖法に外ならず。自分が御話し致さんとする事である。之れは家の大小、室の目的によりて異るから分かり易いやうにそれ〴〵の道具についてお話しやう。――（つゞく某氏談）

◉百五十圓の財布を列車に　帶劍を忘れて行く人もある

汽車に據りて旅行する人々が列車內及び待合室內に置忘れるもの少くはなからうし又た奇拔の遺留品もあるだらうと先づ釜山驛に就て取調べて見ると

◆大正五年の四月一日から本月廿四日迄の間の遺留品が千四百三十一點で其內の三分の二は遺失主が立ち戾つて受取方を申出るが殘り三分の一は七日間驛に留置いて遺留品として警察署へ廻して仕舞ふが遺失主の知れない品物は總て詰らぬもの而已である現金の一番多かつたのは昨年の六月二十八日に大邱の錦座主中村某の財布百五十圓で品物の中では大田の某判任官が本年二月二日に帶劍を忘れたのや上州館林の人が昨年十一月の四日に寫眞器械を忘れてあつたのや自轉車杯は二三度もあつた尙ほ

◆でも閉口したのは 置忘れ主も困り鐵道局も本年の二月二日に新義州から乘つて平壤に下車する乘客が火藥入の箱を置忘れ其儘釜山迄送られたとである他品なれば兎に角火藥は普通貨物の樣に手輕に送り返すと云ふ譯には行かず輸送規則に據ると火藥輸送の貨車は別に連結せねばならぬ故其運賃が二十餘圓も掛るので遺失主から沒收して吳れと云ふが火藥取締規則にも抵觸して居るし遺失主の知れて居るからには渡さねばならず

◆保管するにも危險物 であれば何處にでも仕舞つて置く譯にも行かず非常に困つたが遂に過失主が受取りに來ぬ故警察署へ引取つて貰つたとがあつたとか其他の遺留品としては千種萬樣で煙管、煙草入、帽子、靴下、手袋、履物、外套、洋傘、毛布の類は數知れず酒の詰つた麥酒瓶や正宗の瓶詰、折詰の辨當袋入の菓子時には天秤棒を忘れて行く乘車切符を落して行くのは氣の毒なので直ちに調べてあるのは本人に渡す信玄袋や柳行李は大抵赤帽の積込れなので次便で先方へ屆ける中にも一番振つたのは先日のこと自分が締て居た腰卷を落したと慌てゝ探しに來たのがあつた（釜山）

◇春めくまゝに　流の洗濯も風情を添へて來ます

◉三人組惡店員

熊本縣益城郡豐野村生れ京城黄金町二丁目居住商桶熊彥（三〇）山口縣熊毛郡南町生れ明治町二丁目居住中川又一（二〇）京都府加佐郡西舞鶴町生れ櫻井町一丁目居住谷口直藏（三〇）の三名は何れも以前明治町二丁目雜貨商牧野某方に雇はれゐたりしが熊彥は解雇後又一を教唆し昨年十月より本年一月迄の間に又一をして主家の商品を二十五回に三十六點（七十七圓餘）を竊取持出さしめ之を他に賣却して兩名にて費消し又熊彥は雇はれ中得意先の注文品なりと稱し白米、石炭等の雜貨物九點（十一圓）を騙取し直藏は其雇はれ中數十回に砂糖九十八斤鰹節其他二十五點（五十五圓）を竊取したること悉く發覺し此程捕へられ京城地方法院にて又一は懲役三箇月熊彥は同八箇月直藏は同六箇月の處分となれり

◉二千圓は照江の實母の許に　隱匿せる旨自白

強盜犯人島內宗雄の情婦十河照江（二七）が宗雄に面會のため去る二十五日門司より釜山に來りたる事は既報の如くなるが其後照江は釜山埋立の岡野旅館に投宿し居たるを二十六日釜山署に召喚嚴重に取調を受けたる結果贓金の中金二千圓を京都なる照江の實母の許に隱匿し居れる旨自白したるに因り直ちに釜山署より京都下京區醫家署へ該贓金の取押方を電報にて依賴し照江は同署留置場に拘留せられたるが京城新町遊廓朝鮮樓娼妓小萬の許に金二千圓を隱匿し居れる旨宗雄の自白せし由傳ふるものあるは全く訛傳なりと（釜山）

◉琴の中から三千圓　宗雄の情婦十河照江の母の罪

一萬圓強奪犯人島內宗雄の情婦十河照江の母十河村八重子は門司市淡町にて琴の師匠を爲し居れるが行衞不明中なりし三千圓の現金は門司警察署の搜索に依り同家の琴の裡より發見せられたりと（門司特電）

◉汽罐車に刎ね飛ばさる

安東縣發の南行列車が二十三日午後五時十六分頃京義線雞井土城兩驛間を進行中線路を通行中なりし一鮮婦汽罐車に刎ね飛ばされて打倒れたるより憲兵出張取調べしに二十八歲位の朝鮮婦人にて頭部に重傷を負ひ精神に異狀ある模樣なるより昌德宮敦化門際にて應急手當を受けしが二週間位にて全癒の見込みなるも身元不明なり

◆蜜柑が腐つて滿洲の商人は大弱り

長春で蜜柑の最も輸入の盛んな時は十二月初旬より正月掛けてであるが昨年は虎疫の流行のため內地から輸出がなかつたところが正月近くになつて虎疫が終熄を告げると共に澤山送つて來た其時は折好く需要期であつた爲賣れ行きがよかつたそこで各原産地は此勢に乘じてドシ〳〵送つて來たが恰度南滿線の貨車停滯の時期であつたので大連では山を築くといふ有樣そこへ昨今の暖氣が加はつて來たので今迄石の如く氷つてゐた蜜柑が解けて腐敗し出した一時三圓以上を唱へた蜜柑が目下長春では一圓二十二錢位となりこれでも餘り捗々しき買手がない樣子である例年なればまだ取引のある時期であるに本年は右の如く行惱みの爲めに長春蜜柑商は手控ゐて居る（長春）

◉無名門を鋸で切り破る

京城渼洞白用南（三〇）は外三名と共謀し昨年十二月より本年一月迄數回に冷洞所在の京畿道殖林苗圃に試作中なる竹二本松四十三本梨四本を盜伐し一月十九日には景福宮巽手の北岳山麓無名門に到り鋸を以て切り破りて侵入し舊城壁の屋根瓦二百餘個を竊取し再度侵入したる際捕へられ鍾路署にて取調中

◉自轉車で負傷

二十五日午後三時十分頃京城寬勳洞の路上を本町四丁目山田朝鮮堂の雇人佐々木松次郎が自轉車にて疾走中松葉を負ひたる牛を避けんとて折柄通行の昌信洞尹致榮の二女尹乙山（一三）を轢き倒し左の眼尻に負傷せしめ乙山は仁寺洞の醫師にて應急手當を受く

◉横領

岐阜市生れの矢島竹三郎（二八）は龍山岡崎町の材木屋に雇はれ中龍山驛構內にて材木の受拂賣捌き等に從業中昨年八月より十一月迄に松丸太の賣揚代金百二十餘圓及び外一箇所より集金したる六十六圓餘を橫領消費し京城地方法院にて懲役一年の處分となれり

◉奧田氏令孫死去 奧田貞次郎氏令孫みち子は豫て病氣の處二十六日死去せり因に葬儀は來る三月一日午後五時萬藏寺にて執行由

さわうのさわう

去年の夏から心臟を疾らつて、東京帝國大學病院に入院療養中の銀鑛局長山田松熊氏◆何しろ夜更しと大酒が其の病因となり、加ふるに恐ろしく手遲れと來てゐるから、尋常ならぬ重態◆醫師も絕望であるとは夙に云つてゐるが、山田氏は病臥半歲、然も尙ほ知友の間に一縷の望みを繫させてゐる◆其の旺盛な耐久力には何人も驚ろかぬものはない、然も其の原因が岡田式靜坐法にありとは仲々面白い◆何でも氏は非常の重態、然も心臟だから起き上りも靜坐も無論出來ぬけれど、常に仰臥の儘靜坐的心得のある精神的の靜坐を勵行してゐる……とは同氏を病床に見舞つた人に山田氏の話した言葉である……と

機關銃手より

▲重大なる使命＝四＝

機關部の將卒は全く自己の守る部署以外、例へ沈没しても艦外に出づる事は出來ないのだ、此の機關部員長以下の幹部は第一機室に集まつて艦橋に立つた艦長から時々刻々と電話傳へ傳つて來る

◆破片を 除ける、その爲めに汽罐室、電氣室其他の防水扉は堅く閉されて有紋左舷の交通だも出來なくなる斯うなると、機艙の外部口は手掛も手都も取外されて鐵板でピタンと密閉し鐵格子の上には金網を張つて彈丸の〔illegible〕

◆命令を 受ける主機〔illegible〕通信器に依つて他の艦隊との間隔を計る通信器に依つて全速、半速、遲速、後進等の信號を受けて更らに此れを各部に傳へる、電氣室では有らん限りの發電機を運轉する、魚形水雷を發射せしむ可き壓搾機は〔illegible〕

◆巨大な エンヂン十二臺に最高の熱度を加へて最高速力を可能ならしめんとするた〔illegible〕

◆擊沈に あたつて機關部員の生存者が無いと言ふは〔illegible〕

◆國步〔illegible〕

……最上の名譽なる犧牲を食ふて居ると言ふ事を自覺すればする程自ら慰められる理である（七川）

〔右端欄・前面より續く〕……約三千名の在住邦人を見るに至れるが之は無論煤鐵公司の事業進歩に伴ひて然るものにして此三千人あると稱しても可なり……されば本溪湖の發展は煤鐵公司の事業と相俟つて總て左右されつゝ……工場の〔illegible〕あるに因る面の新設等を遂行しつゝ〔illegible〕して之が主なるものは其地利にあり第一鎔鑛の〔illegible〕する事、第二其鑛を〔illegible〕

▲今同公司の新事業として目下工事中の第二鎔鑛は本年中に竣成を見る可く來年度の新事業としては新式コ〔illegible〕著手する計畫あり來年度に於ては少量の出炭のみにて明後年に至らざれば多くを望むを得ざるも斯く多くの〔illegible〕

▲されば同時に〔illegible〕計畫されし本溪湖山部にて試掘中の馬道溝鐵山として鐵道（約七十哩）も敷設せらるべく此は現在牛心臺迄の輕鐵を更に延長して敷設を見るべしと（本溪湖）

〔illegible〕亂打し白米一斗外二十三點を強奪し〔illegible〕を手初めに外三箇所にて強奪し金二十圓の各懲役處分されたり〔illegible〕長〔illegible〕は一年間〔illegible〕

模範　牛乳　ニウソ　石鹼 洗粉　東亞牧場　京城蓬萊町四丁目　電話五二番　肥塚正太

物品賣却廣告　沒收品及不用物品　朝鮮總督府　右賣却ス詳細ハ大正六年二月廿日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　大正六年二月廿日

臨時土地調查局　一、朝鮮紙參拾參萬枚　右賣買ス詳細ハ大正六年二月二十八日以降ノ總督府官報ニアリ

改良式足踏機　提供長期貸附　製莚機　桑葉切器　大阪築港藤田商店

職工募集　男工十名　女工十名　京城府岡崎町八番地　京城清凉社

京日案内

新刊　京城蓬萊町…

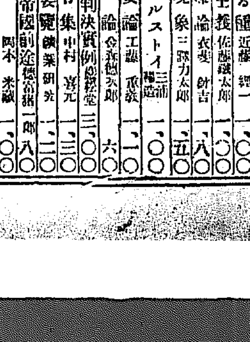
欧洲戰爭記念　新荷着　御披露　目醒付置時計　定價十六圓五十錢　村木時計舖京城支店　京城本町二丁目

巖松堂　京城本町二丁目

山葉オルガン　バイオリン　セヤマ樂器店

朝鮮語科　英語科　鐵道局拂下古鐵　山中所　礦物定量分析　坂元分析所　中古ミシン買入　楠商店　ほねつぎ　柔術道場　恩給年金立替　博多屋　山口屋

母伊代葬送の節は遠路御會葬被成下難有御禮申上候　佐々木四方志　親戚代執行猪太郎



怒濤の月

九十二　小林蹴月作　武内桂舟畫

梅が軒端『十七』の三

『先生さま、お返事のねねのは、不承知で御座りますだかの？』

老婆の眼のみかは、聲音の色まで、遙かに氣遣はしげなる曇りを含んだ。

『何事かと思つたら、小母さん、然う云ふ問題なんですか。僕如き出世前の人間に、何處か取柄でもあつて、そんな事を被仰るのか知れませんがね、はゝゝ、それや眞個畫工の生活と云ふものを御存じないからの事です。殊にですね小母さん一人で然うお思ひになつた所で、斯う云ふ事柄と云ふものは第一、本人のお節さんの考へも聞き、義郎君の意見も叩いた上でなければ、僕と小母さんとで、膝詰めの相談を爲た所で、仕方のない話と云ふもんですよ。』

幸三郎は『大丈夫です』と言つた前言に對しても、無情に拒絶する譯にも行かないので、有體に云へば、工合好く此の場を瞞かさうと爲たのである。

『いや／＼、然うでは御座りましねだ。お前さまを捉へて、露骨に斯う言ひ出したのは、妾等に違ひねねだが、實はの、お前さま、本人の娘奴が、お前さまの事を一生懸命……。』と、言ひさして、老婆は、我が娘の事ながら、幾分極りわるく思つたのであらう、少時口端をもがもがさせたが、再び思ひ切つたやうに袖無し羽織の塵を拂つて、

『お前さま、戯談子と思つて、笑つて下さるなよ。お前さまのやうな物の分つたお人の妻になつて、朝晩のお給仕を爲る事が出來れば、貧苦も骨折も必ず厭ふこつちやねねだと、妾等にこそは言はねねだが、新家のお作どんに手を合はして、妾等まで取次いで異れろと、お百度を踏んで頼んで居ますだ。其處での、妾等も一人ほかねね女ッ子の事ぢやあり、叶へるものなら叶へてやりてねと思ひましたから、總領どもいろ／＼相談しましての、今日は幸ひ、彼女も居ましねだから、厚皮しいお願ねとは知りつゝ、お前さまに此の通り眞實を打明けて、お願ねするんで御座りますだよ。そりやなに、お前さまの御都合では、今日明日に婚禮まで爲て下されと言ふではねねだが、約束さへ堅く結んで下されば、彼女も定めし安心しませうし、妾等も亦安心して眠が眠れると云ふもんで御座りますだよ。それに今申した田地や山林は、ほんの僅かぢやあるけれど、お前さまの畫の修業料に爲て下さる事出來れば、直に登記とやらを書き替へて進せるだと言つての、總領の義郎奴も、一生懸命になりて居るやうな譯で御座りますだからの。』

話の進むに從つて、問題は愈々複雜にもなり、又進退のならぬやうな義理責めになつて來たのである。元來が餘り頓智家でもない幸三郎は、益々苦痛と煩悶とを感ずるばかりであつた。

『小母さん、折角の眞實のお話に對して、兎や角申すのは、誠に濟まんですけれども、婚緣と云ふ事丈に就いては、僕も少し考へなければなりませんし、東京には貴女と同じ位の母親もあることですから、形式にもせよ、母の方へも一應は承諾させませんでは……ね。』

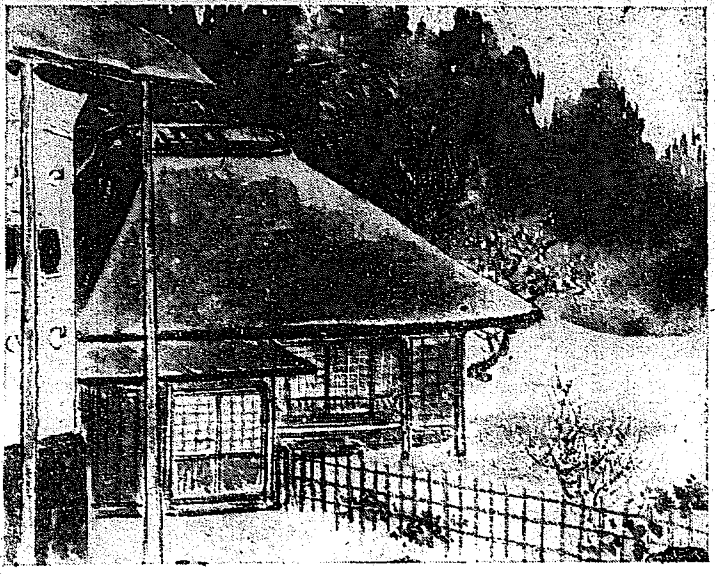
『何樣々な、お聞き申せば、道理のやうにも思ひますだがの……。』と、老婆は、又しても言ひにくさうに幸三郎の面を染々に眺めて、

『したがの先生さま、妾等が何も先走つた事言ふぢや御坐りましねだがの、お前さまは、猶且まだ組代さんとか云ふ許嫁の人を思つて居さつしやると見ねますだの。』

『ねつ、什うして小母さんがそんな事を……。』

老婆の口から、組代云々の語を聽かうとは、幸三郎も實に思ひがけなき奇怪を感じたのである。老婆は、左もこそとやうに北叟笑みつゝ、

『妾等はもう物事を隱すと云ふ事知らねだから、何も彼もお話しますだが總領がつい三四日前に銀行の用で水戸まで行きました次手、東京のお前さまのお宅へ廻アつて、執らと御隱居さまにお目に逢つて來ましたとよ。その時御隱居さまのお話では、組代と云ふ親類の娘と約束はなつたに違ひねねだが、先方の親に不都合があつた爲め、その方は離緣と緣を切つて了つたから、どうか貧乏さへ承知だら、そのお節さんとやらを倅の嫁に異れて異ねてねだと、嬉し涙を滾して言はしやりましたさうでの、ほゝゝ、然う云ふ譯で御座りますだからの、お前さま、妾等が母子三人を助けるだと思つて、快く彼女を嫁に持つてやつて下さりやんしよ。』と、否が應でも『承知』の一言を聞からの意氣組である。



齒科 橋本齒科醫院
齒科醫學士 橋本清次郎
南山町三丁目巴城館上 電話二九二〇

入院隨意 京城南大門通二丁目七番地（漢湖農工銀行前）
胃腸病院 電話一六五九番
院主 佐々木杏造

□新畫の贋物 京都大阪が本場

近來新畫の流行が盛んになつたのに連れて、勢ひ贋筆を製造して驅け出しの素人好畫家や、鑑賞の眼の低い成金共に掴ませる奸商輩が夥しく繁殖して來た、現に昨年中京都地方裁判所で懲役の宣告を受た京都の某が贋造した楓鳳の作品の如きは頗る巧妙を極めたもので、專門の新畫屋どもまでが、まく〳〵甘々と一杯喰つたものが多かつた位、ソレが又近來は一層烈しくなつて現時新畫界の賣れッ兒たる——又價格に於て——呉昌碩、鐵齋を始め春擧、芳文、契月、松園、さては南畫では竹邨あたりが、最も贋筆が多く、其等は孰れも屁々しく落款から印譜まで僞造し、オマケに眞蹟の證明たる鑑者の箱書付までも僞筆してかゝるのだから堪らない。滑稽なのは其の贋筆の本家が京都のみか、大阪にまで出來てゐるので、東區本町一丁目、揚屋も嚴めしい東警察署のツイ眼の前に鐵齋の箱書を專門にしてゐる雁鐵屋があつて、一幅三圓均一で畫商共から澤山の仕事を引受けて繁昌してゐるといふ始末である、茲に亦近頃

◇奇怪な一事件こいふのは南區內の某素封家の許へ昨年末雅邦、寛齋を始め小蘋、廣業、玉堂、芳崖、大觀、觀山其他明治現代の東京の大家の作品五十餘點を抵當預けにして大枚一萬二千餘圓を借出したものがある、ソレは出入の表具屋某といふもので左る新畫屋が金に詰つて一時預けの融通をするのだといふ申條だつた見ると孰れも立派な作品で金襴緞子の美事な表裝に、箱書付を添へて、二重箱三重箱にした堂々たるもの揃ひだから一も二も無く言ふが儘の一萬數千圓を借してやつた、トコロが期限が來ても取りに來ぬので、掛合に及ぶこ、[illegible]持が明かないので

◇出入の新畫屋を呼寄せて、評價させて見ると驚いた事に全部が全部眞赤な贋物まづ賣らうとなると表具値でせうといふ次第に、貸主の方では膽を潰し、目次の表具屋へ嚴談に及んだが埒明かぬので此は詮方無しと告訴の手續に及んださうだが、扨犯人を懲役に遣つた處で損害は戻らうやうはないからとて件の贋物全部を二束三文でツイ此程賣却して了つた、トコロが此贋物全部を一手に引取つた某新畫屋は件の贋物ながら却々出來のいゝ處から惡心を萌して仲間の醜類を語らひ件の諸を五幅十幅づゝ分配して、更に第二第三の箱め口を考へ頃日來頻りと各方面を振り廻してゐるといふ、新畫好の素人連、迂闊此手に釣り玉ふな（京都）

▲京城二葉會小集俳句
（題）神武祭、春の灯

春の灯の錣洩るゝや掛り船　怡樂
末代に光る御陵威や神武祭　同
神武祭十三道の植樹かな　碩
春の灯や二階につうる人の影　同
和陽に春濃かな灯かな　京城 荷家
春の灯や襲の奥にほつと點く　同
古圖展へて飯圖染めけり神武祭　同
縮くれ花くれ春の灯がな　帝史

天覽　蘇峰 德富猪一郎新著

大正の青年と帝國の前途

上製　總クロース上製天金 函入菊版七百五十頁 定價金二圓八十錢 郵稅十二錢
並製　四六版七百三十頁 定價金八十錢 郵稅八錢

大谷光瑞師と本書の批評

▲本書發刊以來茲に三ヶ月餘、版を重ぬる七十有二、發賣部數十六萬餘に上る。其間本書を閱讀せられたる江湖の君子より、著者に對して書を寄せられたるもの、實に几上に山積す。就中大谷光瑞師の寄せられたるものを以て、最も雄勁警拔の大文字と爲す。師や佛門至上の權貴を棄てゝ海外に放浪し、滿腔行藏を一管の筆に託して悶を遣る。然も夢寐の間國家を忘れず、身は異鄉に在るも、魂は帝國を離れず、濟世の意、報効の念燃ゆるが如し。舊臘本書の世に出づるや、同感讃嘆の情自ら禁ずる能はず、椽大の筆を揮て滔々數萬言の大文章を艸し、遂に之を上海より著者に寄せらる。▲掲げて昨年十二月下浣より、本月初旬に至る國民新聞紙上に在り。回を重ぬる三十六、當今の論壇稀觀の警世的傑作たり。今ま其中に就て、最も著者立言の精神に契合したる數節を摘錄し、以て江湖君子の一顧に供す。

狂喜を禁じ得ず

畏敬せる親友なり。常に教訓を垂れ、近著『大正の青年と帝國の前途』の一卷を惠投せらる。之を讀んで其識見の高邁に、其所論の明快に、其教訓の懇切に、再讀三讀卷を覆ふ能はざらしむ。不肖愚鈍、焉ぞ容易に之を稱讃するを得んや。然り司馬子長曰く『孔子作春秋。筆則筆。削則削。游夏之徒。不能贊一辭』と。夫れ蛇足の如き贊は無用也。然りこ雖も、稱揚讃嘆は智愚を渝ばず。不肖豈に對して一辭なくして可ならんや。讀んで之を讀むに、全篇の骨子は即ち亞細亞主義の五字にあり。亞細亞主義こは即ち大日本主義なり。而して之を行ふや大規的使命に在り。是れ不肖の永年抱懷せる所にして、而も造次顚沛も忘るゝ能はざるなり。今この書を見て、始て三十餘年の悶を解く事を得、豈狂喜を禁ずるを得んや。

千載一遇の危機

不肖も亦斯の如く信ぜんとす。蘇峰先生曰く『大危機とは何ぞや、日本は强國として存する乎、亡國として滅ぶる乎の十字街頭に立てり。程度にて、吞氣に一國の獨立を維持するは、明治の半世期に於ける行掛りの上にて、最早不可能の事となれり。然るに我國民は、未だ强國たるべき努力を定めざるなり。我國民は、未だ强國たる準備を盡さゞるなり。而して國運の隆昌を期する亦離からず。是の如くして、國運の隆昌を期するは、則ち是なり』と。實に然り。然れども顧つて之れを考ふるに、實に千載一遇の好機に非ず。千歳一遇の危機なり。蘇峰先生も斯の如く言へり。

大聲眼を驚かす

吾人が所謂る大危機とは、不肖敢て慷慨の言を唱へ、自から高しとするに非ず。世を罵つて自から賢なりとするに非ず。不肖の如きは、放浪流落の身なり。賢なるも用なし。高しとするを得ず。然れども常に海外に放浪し、我帝國の危機を望見するを得、故に明了に此危きを指示する事を得。今蘇峰先生の此書を著さる、を讀むに、言々句々、其節に當り、恰も毎人の枕上に、大聲眼を驚かすが如し。蘇峰先生は、博學達識の士なり。憂國の至情凝て此書を成せり。嚮に『時務一家言』こ『世界の變局』を著はせり。是正に此書の前篇たり。今我帝國亡國街道に入り、而も猶酩醉の夢の中にあり。この二書を讀で、奮起せざるは、人に非ず、人に非ざるに非ず、生理上法律上生人の列に伍すこ雖も、實は死人なり。

救國の妙方なり

而して此を讀んで、猶強昏己れの非を飾らんとするが如きは、即ち曲學阿世の徒にして、賢に此書の賜なり。我帝國の危機を不斷に警告せんとす。所謂今日の窮鄙を以て、迷夢を覺破せしめられん事を、同愛の士に訴へんとす。其の言誠に忠なるも、至情は皆一なり。憂國の至誠を以て、一人にても多く之を讀ましめざるべからず。是今日の急務なり。人誰か亡國を喜ばん、亡國たるを知らざるによる。若夫れ是を知らば、悚然として身毛の堅んのみ。今此書を讀むの人、勤むるに朋友に、眷親に、鄉黨に以て讀ましむべし。當に外間よりも自ら讀むべし。六十年前、憂國の志士は、斷頭刳腸至誠を盡せり。今の志士豈古に讓らんや。唯是を救ふの途、亞細亞主義の徹底にあり、軍國主義の整備にあり。是を除て是を救ふの途なし。故に此書の普及は、救國の妙方也。茲に切實に全帝國の人士に、此書を讀まん事を勸告す。

發行所　東京市京橋區日吉町　民友社
振替口座一三一〇〇
賣捌所　京城大平通一丁目　京城日報社代理部
振替京城三〇〇番
取次所　京城本町一丁目　大阪屋號　京城本町二丁目　巖松堂　京城本町一丁目　日韓書房　京城日報各地支局

東京で一番よく賣れる美人となる化粧料はホーカー液
本品は畏くも宮內省御買上の光榮を有し衛生博にて名譽金牌を受領し到る處の信用ある、小間物店雜貨店にて一番よく賣れる美人劑なり

最新刊　大阪屋號書店

大正六年最近朝鮮事情要覽　總督府　六五
日本商業會議所電氣大觀　日本商業會議所　特一、二〇〇
小學校各科教授の實際的大研究　小學教育研究會編　二五
世界政策と極東政策　中野正剛　一、五〇
佛蘭西文學史　太宰施門　一、九〇
商業通記關係書　村田　一、〇〇
販賣力增進策　寺良　一、八〇
英和對照商店英語　山口　五〇
小賣木商店新經營法　佐々木十九　六五
李義山詩講義下卷　槐南　特一、〇〇
忠臣と孝子　坂本　一、二五
慰安と修養　神長倉　七五
入るまで金子　蘆間　七〇
盛花　尾崎　一、三〇
舌小說三千年前　江見水蔭　一、六〇
男女日く氣にいらぬ百ヶ條　むら子　八〇
圍碁勝敗の一手　高橋　六〇
ペン商業書式　三〇
受驗必携朝鮮六法要論　四〇
同法律講義　坂上　特七五

京城南大門外停車場通り　ドラッグ商會滿鮮本部
りん病　はい毒　請合藥
詳細ハ昨日ノ本紙ヲ御覽ニナリ御注意

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神阪行
○二州丸　三月十八日
×天陽丸　三月十日　後五時出帆
×天香丸　三月十二日
○木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
×濟州丸　二月廿八日　正午出帆
×安東丸　三月五日
○木浦、釜山、巖原、鄉の浦、長崎行
×安東丸　三月九日　後二時出帆
○群山、釜山、橫濱行
△麗州丸　三月二十日　後一時出帆
△チヨイサン　三月一日
○群山、神戶、大阪行
濟州丸　月　日　後五時出帆
○鎭南浦、大連行
×安東丸　三月廿三日　後二時出帆
○大連直航
×安東丸　三月五日　正午出帆
×安東丸　三月十五日
○神戶大阪行
潮州丸　二月　日　正午出帆
○淸津、浦潮行（元山出帆）▲印二城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港
▲安平丸　三月十五日　後十二時出
▲宮島丸　三月一日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
北丸　三月十三日　前六時出帆
湖隆丸　二月　日　後四時出帆
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番二二番五〇番
京城切符發賣所　內國通運會社支店

三菱阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行　關東都督府命令航路
共同丸　二月廿六日午後入港　二月廿八日正午出帆
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

朝鮮郵船出帆
○全羅丸　二月十四日
○京畿丸　三月五日
○黃海丸　三月十一日
○咸鏡丸　三月　日　釜山發
○穩城丸　三月五日
○昌平丸　三月二日
○鏡城丸　三月一日　元山發
○昌平丸　三月　日　元山發
○盛德丸　三月三日　釜山發
○江陵丸　○襄陽丸　毎日　釜山發　浦項發
○三江丸　三月七日　釜山發
○濟州丸　○統營丸　○巨濟丸　○慶賓丸　毎日　釜山發
○平壤丸　○忠淸丸　三月二日　三月七日　元山發
○順天丸　三日目毎ニ　木浦發
○慶興丸　三月廿七日　木浦發
○慶興丸　三月六日　木浦發
○公州丸　三月四日　木浦發
○江原丸　三月一日　仁川發
○麗水丸　○晋州丸　三月一日　三月二日　仁川發
○錦江丸　三月五日　仁川發
○全州丸　○南陽丸　毎日午前　仁川發

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸　三月八日　後五時出帆
○秀吉丸　三月二十三日　後五時出帆
○君か代丸　二月廿八日　後五時出帆
○神代丸　二月廿六日　後五時出帆
杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽（天津）行
○和拔丸　二月十日　正午出帆
三河丸　三月十一日　正午出帆
筑砂丸　三月四日　正午出帆

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行　和歌浦丸　三月二日　後五時出帆
○立神丸　三月十三日　後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行　○立神丸　三月十一日　後四時出帆
○和歌浦丸　三月十二日　後十時出帆
○元山、西湖、城津、淸津行　第三平安丸　三月六日　後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三平安丸　二月　日　後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天草丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
大池回漕部

大邱浦項間自動車時間
大塚農場自動車所　大邱出張部